

マスコミ：オランダ国民投票 EU・ウクライナ連合協定に反対

(スプートニク 2016年04月07日 15:11)

◎ REUTERS/ Valentyn Ogirenko <http://bit.ly/1PVKprr>

オランダでEUとウクライナの連合協定の是非を問う諮問的国民投票が実施され、参加者たちは反対に票を投じた。通信社BNOニュースが伝えた。BNOニュースによると、協定への賛成票は38.1%で、反対票は61.1%だった。

投票率は32.2%で、投票結果が有効となるために必要な30%を上回った。最終結果は、4月12日に発表される見込み。

<http://bit.ly/1S4h1a5>

ロシア航空宇宙軍 シリアでテロリストらの攻撃を阻止

(スプートニク 2016年04月07日 15:15)

◎ 写真：ロシア国防相 <http://bit.ly/1QSaCMB>

ロシア航空宇宙軍の航空機がシリアで「アル＝ヌスラ戦線」のテロリストらの攻撃を阻止した。なおロシア国防省によると、シリアではこの一昼夜に4件の停戦違反があった。

ロシア航空宇宙軍の航空機は、「アル＝ヌスラ戦線」の拠点を攻撃し、テロリストらの攻撃を未然に食い止めた。国防省によると、「アル＝ヌスラ戦線」のテロリストらは力を蓄積し、大規模な攻撃の準備をしている。なおこの1昼夜、シリアの大多数の州で停戦が遵守されたが、4件の違反が確認された。

6日、シリア軍はアレッポ南部の戦略的に極めて重要な一連の高台をテロリストらから奪還した。アサド政権軍（シリア政府軍）は、ダマスカスとアレッポを結ぶ主要幹線道路の近くにあるテロリストらの拠点を攻撃している。

<http://bit.ly/1MTZrDx>

独ディ・ヴェルト：ドイツはロシアの「ノルドストリーム2」を全力で支持している

(スプートニク 2016年04月07日 15:35)

◎ Sputnik/ Alexey Kudenko <http://bit.ly/1NbTUXa>

独紙ディ・ヴェルトは、バルト海の海底を経由してロシアとドイツを結ぶロシアのガスパロジェ

クト「ノルドストリーム2」について、実現のためのあらゆるチャンスを有していると報じた。

ドイツは、「ノルドストリーム2」の建設に異議を申し立てようとする複数のEU加盟国による試みに抵抗している。

ディ・ヴェルト紙は、「最近ジャン=クロード・ユンケル欧州委員会委員長に抗議書簡を送った欧州諸国の試みは、弱々しいように思われる。ドイツはプロジェクトを擁護するために自国の影響力を用いており、『ノルドストリーム2』は、より強化されている。ドイツの法的立場は、プロジェクトを阻止する法的権利をEUは有していないというものだ。」

ディ・ヴェルト紙は、そのためEUには同プロジェクトを禁止するチャンスがわずかしかなかったとし、プロジェクトが実現された場合、ウクライナやポーランドなどの国は、欧州へのガスのトランジットで重要な役割を担うことがなくなり、これらの国の役割をドイツが占めることになると指摘している。

<http://bit.ly/1TDqNiC>

日本の植物栽培技術を用いた工場、ハバロフスクでオープン

(スプートニク 2016年04月07日 16:37)

© Fotolia/ Moonrise <http://bit.ly/1VaWhxQ>

土壌なしで植物を栽培することを可能にするグリーンルームという技術を用いたロシア初の工場がハバロフスクで水曜オープンした。プロジェクト「未来の農業技術」投資家が発表した。

日本企業MIRAI株式会社の最新技術が使用されている。「人工照明と土壌なし水耕技術を用い、閉鎖空間で植物が栽培される。遺伝子組み換え作物と化学的方法による害虫駆除は、全くない」という。植物は12段の棚で栽培され、一日に1万800株を収穫できる。現在、20作物がテストされている。工場全体でサラダ作物やハーブを約50種類作ることができる。

<http://bit.ly/1UJU2BF>

ポロシェンコ大統領 明仁天皇をウクライナへ招待

(スプートニク 2016年04月07日 17:02)

© AFP 2016/ Katsumi Kasahara <http://bit.ly/23dW81j>

日本を訪問中のウクライナのポロシェンコ大統領は、明仁天皇をウクライナへ招待した。7日、ウクライナ大統領のサイトで伝えられた。ポロシェンコ大統領は5～7日まで日本を公式訪問して

いる。

ウクライナ大統領のサイトでは、次のように発表された—

「日本公式訪問の枠内で、ウクライナのピョートル・ポロシェンコ大統領とその妻マリーナ・ポロシェンコ夫人と、日本の明仁天皇と美智子皇后両陛下の面会が行われた。大統領は、政治的支持およびウクライナとの連帯に対し日本への感謝の意を表した。またポロシェンコ大統領は、『明仁天皇にとって都合のよい時に』ウクライナを公式訪問するよう天皇を招待した。」

twitter.com/ <http://bit.ly/22eqrPI>

<http://bit.ly/1Yg9MdG>

シリア兵、国民の夢のために自分の夢を犠牲にする

(スプートニク 2016年04月07日 20:58)

◎ 写真: <http://bit.ly/22gKmh1>

ロシア航空宇宙軍の支援を受けてシリア軍は過激派ダーイシュ（IS、イスラム国）からシリア領土を解放している。完全な勝利を達成するために、まだ時間と労力がかかるが、シリア軍の兵士たちは、すでに戦後の生き方を夢見ている。スプートニク特派員がその夢を聞き出した。

いかなる値を払っても学業を続ける

ハマ県出身の兵士ハムザ・イスマイル（26）が家族を最後に見たのは3年前だ。「卒業後すぐに入隊した。修士になり、その後、博士課程に入学したかった。しかし、同胞が他の何よりも重要だった」とハムザ氏は述べている。

将来的には大家族の夫と父親になりたい。学校を終え、学位を得、シリアの民間銀行に仕事をしたい。しかし今はテロリストとの戦いだ。

ハムザ・イスマイル

◎ 写真: <http://bit.ly/1UMa6Tr>

戦争で父の葬式を挙げられなかった

タマム・マアラは2010年に土木工学の学位を取得して高等教育の卒業証書を受け取った。しかし、1年後にシリア武力紛争勃発。数回重傷を負ったが、今も武器を取り、勤務を続けている。

「私は前線に何度も何度も戻ってきた。私が軍務についている間、私の家族に多くの事が起こった。

最悪なのは、父のバセムが亡くなったのに葬儀に来ることができなかったということ。最後に私に言った彼の言葉が慰めだ。「私は私の息子が国の英雄の一人であることを誇りに思う。」「私の夢は息子に父の名前を付けることだ。そうすれば私の心の火も消える。」

戦争の隙間に家族を夢みる

タルトゥース出身の会計専門職モハメド・アマル（28）も戦争勃発直後に参戦した。

「私は志願兵に入ったが、立候補は明確な理由なく拒否された。最後には予備兵に入れられたが、戦争が激化したとき、私たちは全員、前線に送られた。」

彼の究極の夢もまた、家族だ。この夢のためになら、待つことも戦うこともいとわないという。

モハメド・アマル

◦ 写真: <http://bit.ly/1RTDMYS>

戦争の前にも後にも学業

アドナン・アル・アフマドは戦争に出発する前は弁護士になるための勉強をしていた。

「私が最もがっかりさせられるのは、多くのシリア人がソーシャルネットワークであんなに英雄的な言葉を綴りながら、自分自身は戦争から逃れ、西洋諸国の暖かい海岸にいるということだ。私たちの国の生活は台無しになり、通りには亡くなった英雄たちの写真が充ちている。私たちは勝利を考えることによって生きている。」と戦後は学業を継続する予定のアドナン氏。

アドナン・アル・アフマド

◦ 写真: <http://bit.ly/1STUda3>

すべての夢をひとつの夢のために諦める

モハメド・アル・アカル（30）は戦争勃発時、妻と子供をもつ富裕なレストランのマネージャーとして働いていた。

「私は私たちの国を守るために決定をした。私は家族から目を離すことができなかった。妻と娘を置いていけなかった。しかし一つの夢のためにすべての夢を諦める日が来た。シリアの平和という夢だ。」

しばしば携帯電話で妻と娘と話し、まだ生きている、無事だと伝えるという。

「電話のとき、時々思う。彼らの声を聞くことも、これが最後だったらどうする？しかし、私はすぐにそのような考えを追放する。私たちの生活は戦争に踏みこじられた。我々は家に帰り、家族を

見ることができる日を見越して生きている。戦争は私たちがそれ以外の何を夢みることも許さない。」

アドナン・アル・アフマド

◎ 写真: <http://bit.ly/1VcyUDP>

モハメド・アマル

◎ 写真: <http://bit.ly/1WgAMLd>

<http://bit.ly/1RHHXdC>

ウクライナについて分かり始めた欧州、日本は？

(スプートニク 2016年04月07日 21:12 アンドレイ・イワノフ)

◎ AP Photo/ Kirill Kudryavtsev, Pool <http://bit.ly/1TFbkys>

日本での重要な会合でウクライナ議会における大統領支持派の会派「ポロシェンコ・ブロック」の指導者ユーリイ・ルツェンコ議員が居眠りをしなかったならば、ウクライナ大統領の日本訪問は成功したと言えただろう。また最近の国際情勢もウクライナにとっては望ましくないものとなり、恐らく今後の日本とウクライナ関係に影響を及ぼすと思われる。

モスクワ国立国際関係大学国際研究所主任研究員アンドレイ・イワノフ氏の私見一

はじまりはウクライナにとって気分の良いものだった。ポロシェンコ大統領は日本で非常に丁寧に迎えられた。安倍首相は会談終了後に、ポロシェンコ大統領がウクライナにおける迅速な改革の実施を約束したと述べ、ポロシェンコ大統領のこのような固い決意を心強く思っていると語った。また安倍首相は、ドンバス（ウクライナ南部・東部）情勢解決の問題で、全体としてポロシェンコ大統領率いるウクライナ代表団を支持し、日本がミンスク合意の完全履行を呼びかけていることを強調した。

情勢によく通じている世界の主要大国の首脳である安倍首相が、まさにポロシェンコ大統領がミンスク合意の履行を頓挫させているのを知らないはずはない。しかし経験豊かで礼儀正しい人物である安倍首相は、これを声に出して述べるができなかったのだ。だが安倍氏が今後、ウクライナの政治家たちの甘い言葉ではなく、現実に基づいてウクライナとの関係を構築しなければならなくなるのは明らかだ。

次は不快なものについて触れる。現実には次のようなものだ。例えば、オランダで6日、EUとウクライナの連合協定の是非を問う国民投票が実施され、反対票が多数を占めた。ウクライナに対するこのようなネガティブな反応は、他の欧州諸国でもさらに顕著になっている。なぜなら欧州の人たちはウクライナについて一般的な日本人よりもはるかに多くの事を知っているからだ。EU加盟国や米国の政府の管理下にあるメディアの強化にもかかわらず、欧州の人たちは、2014年2月のキ

エフでのクーデターや、横領、汚職、民主主義侵害の疑いが持たれた当時のヤヌコヴィチ大統領が逃亡した後、ウクライナ政権が今も変わらず腐敗していることを理解し始めた。ウクライナでは民主主義も高まらなかった。反対に数千人が刑務所に入れられ、ウクライナの新たな「民主的」政権を批判したとして数十人の野党活動家が殺害された。ウクライナ経済は崩壊した。クリミアの住民は、クミア半島と一緒にロシアへ逃げ込んだ。ウクライナ東部ではポロシェンコ大統領が戦争を開始した。公式情報によると、この戦争では約1万人が殺された。これらの現実は、果たしてウクライナとEUの連合協定がEUに恩恵をもたらすのだろうか？ という疑いを欧州の人たちに抱かせている。欧州の人々は、新政権によって破壊されたウクライナから、飢えて怒り狂った大勢のフーリガンが欧州へ流れてくるのを恐れている。しかもそれらのフーリガンの多くが、ナチスドイツの共謀者たちを崇拜し、ドンバスで殺害の経験を持つウクライナ国家親衛隊のメンバーだ。さらにウクライナ領内にテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の戦闘員を訓練するキャンプがあったという最近伝えられたばかりの情報も、欧州の人たちに衝撃を与えた。

ロシアとの関係をさらに悪化させるという懸念も、ウクライナとEUの連合協定の支持を拒否する重要な原因だ。欧州の人々は、「尊厳の民主革命」と呼ばれるウクライナのこの全ての「ごたごた」を、ウクライナとロシアの経済関係を破壊し、かつての兄弟共和国ウクライナをクレムリンに圧力をかける拠点へと様変わりさせるために欧州が利用したことをすでに理解し始めている。正常な欧州の人たちの中では、これらの汚く、危険なゲームをしたいという気持ちが薄れている。日本人々が、政治家やマスコミによる「プーチンから身を守る為に欧州の庇護を求める不幸なウクライナ」、「ロシアの侵略」という催眠から解かれるのは、いつのことになるのだろうか？

<http://bit.ly/1WgAWCy>

プーチン大統領、「パナマ文書」の汚職非難に反論

(スプートニク 2016年04月07日 23:54)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <http://bit.ly/1NcsywG>

プーチン大統領はサンクトペテルブルクにおける全ロシア人民戦線メディアフォーラムでオフショアスキャンダルに言及した。「あなたの謙虚なしもべはこのリストにはいない、話すことは何もない」。リアーノーヴォスチが伝えた。

社会の不信を導くことによりロシアをより従順にする試みがとられている、とプーチン大統領。大統領によると、ロシアの反対派が何より恐れているのは、ロシア民族の団結と連帯だ。

オフショア調査で大統領の友人らの名が挙がっていることについて大統領は、そこには汚職に関わる内容などない、と指摘した。

ドミトリー・ペスコフ大統領報道官によれば、大物政治家の秘密オフショア口座に関する報道はロシア国内の視聴者向けのものであり、しかもロシアのプーチン大統領に対する言及はなく、クレ

ムリンはオフショアに関する調査報道の質に失望していると指摘した。

プーチン大統領は音楽家セルゲイ・ロルドゥギン氏との友情を誇りに思う、と述べた。「セルゲイ・ロルドゥギンのような人物を友人として、またそもそも、誇りに思う」と大統領。大統領によれば、「ミュージシャンの稼ぐほとんどすべてのお金を、彼は国外における楽器の購入に費やし、それをロシアに持ち込んでいる」

最近一部のマスコミが、プーチン氏とすでに40年以上のつきあいがあるロルドゥギン氏が、音楽やビジネス以外に、数百万ドルの運転資金を持つオフショア企業を所有していると報道し、話題になっていた。

<http://bit.ly/22gMchK>

プーチン大統領：米国はロシアと違い兵器用プルトニウムの廃棄義務を順守していない

(スプートニク 2016年04月07日 23:32)

◎ Sputnik/ Michael Klimentyev <http://bit.ly/20cLin7>

米国はロシアと違い兵器用プルトニウムの廃棄義務を順守しておらず、再帰的ポテンシャルを維持している。プーチン大統領が述べた。

「2000年代初頭、我々は兵器用プルトニウムの廃棄について米国人らと合意した。我々は契約を締結し、プルトニウムは、特定の方法で廃棄されることで合意した。すなわち、特別な事業を立ち上げ、工業的に廃棄すると。我々は約束を果たしてきた。我々は事業を立ち上げた。我々の米国のパートナーはやっていない」と大統領。

「しかも最近、彼らは、高濃縮使用済み核燃料を合意外の方法で廃棄する意向を示した。希釈し、何らかの容器の中で再利用するという方法だ。これはいわゆる再帰的ポテンシャルを保持することを意味する。つまり、抽出し、加工して、再び兵器用プルトニウムに変換することができるということだ」とプーチン大統領。

<http://bit.ly/1VczuBE>

ペンタゴン：リビアで「ダーイシュ（IS）」戦闘員の数が増

(スプートニク 2016年04月08日 10:29)

◎ 写真: Youtube/PressTV Documentaries <http://bit.ly/1m9xlYD>

リビアでは1年間で「ダーイシュ（IS、イスラム国）」のテロリストの数がほぼ倍増し、6,000

人に等しくなった。米軍アフリカ軍司令部のデービッド・ロドリゲス司令官が発表した。ロドリゲス司令官は、次のように語った—

「米情報機関の推計によると、リビアには今『ダーイシュ』の戦闘員がおよそ 4,000 人から 6,000 人いる。これは昨年のデータのほぼ 2 倍だ。」リアーノーヴォスチ通信が伝えた。ロドリゲス司令官は、北アフリカ全体で戦闘員の流入がみられていると強調した。

<http://bit.ly/1RTFzwY>

ロシア製チョコレート菓子 イタリアで販売へ

(スプートニク 2016 年 04 月 08 日 11:52)

BeTa-Artworks <http://bit.ly/1STWq5e>

スーパーマーケット・チェーン店「アシャーン」が、向こう数ヵ月以内に、ロシア製の 16 種類のチョコレートやキャンディー・チョコレート類をイタリアへ輸出する。正確な量、納期、価格は、現在合意に向けて話し合いが行われている。

新聞 R B K (ロシア・ビジネス・コンサルティング) の特派員は、今回の輸出について、小規模のテスト供給だと伝えた。

「アシャーン」側は、「我々は最近、国際展示会に参加し、そこで我々のパートナーたちにロシアでつくられた製品を紹介した。我々の製品ラインは、イタリアのパートナーたちにとっても気に入られた」と説明した。

輸出が決定した主な理由として、生産コストとロシア製品の価格が現在欧州と比べてはるかに低いことが挙げられる。

<http://bit.ly/1YiaDKV>

アルメニア首相 ロシア産ガスの値下げについて伝える

(スプートニク 2016 年 04 月 08 日 12:42)

© Sputnik/ Александр Астафьев <http://bit.ly/22gOSMC>

ロシアは、アルメニア向けのガス価格を 1,000 m³あたり 165 ドルから 150 ドルに値下げした。アルメニアのアブラハミャン首相が、同国の首都エレバンで行われたロシアのメドベージェフ首相との会談を総括して伝えた。

ガス価格は9%値下げされた。アブラハミャン首相は、次のように語った—

「これまでガス価格は165ドルだったが、今は150ドルに値下がりした。協議は続けられている。これが最終消費者に影響するかどうかは、まだ検討中だ。」リアーノーヴォスチ通信が伝えた。

<http://bit.ly/1PXFJTV>

ヒラリー・クリントン氏 米国市場へのアクセスを遮断すると中国を脅す

(スプートニク 2016年04月08日 13:57)

© REUTERS/ Brendan McDermid <http://bit.ly/1Yiziin>

米大統領選挙に向けた民主党候補者指名争いに出馬しているヒラリー・クリントン氏は、米国は中国企業に対して米国市場へのアクセスを遮断することができるとの考えを表した。

クリントン氏は、次のように語った—

「中国は不法に我々の市場を安価な商品で埋め尽くし、我々の企業秘密を盗み、自国通貨を操作し、米国企業に対する差別的な措置を実施している。私が大統領になったら、彼らは共通のルールに従うことになる。そうでなければ、彼らは我々の市場へのアクセスを獲得できないだろう…」

一方で専門家たちは、恐らくこれは米国内の消費者向けのプロパガンダにすぎないと指摘している。中国はすでに世界一の経済大国の役割を主張しているため、実際に米国が中国に影響を与える可能性は非常に限られている。

<http://bit.ly/1SE1QBg>

イスラム主義者が化学兵器でアレッポを攻撃

(スプートニク 2016年04月08日 16:44)

© REUTERS/ Rami Zayat <http://bit.ly/1OzBTn1>

シリアのクルド人たちの公式報道官レイザン・ヘドゥ氏は、通信社「スプートニク」に対し、アレッポのシェイフ・マクスド地区が砲撃された後、一般市民とクルド人民防衛隊（YPG）のメンバーがガス中毒になったことを認めた。赤新月社の医師の一人が、4人が中毒になった情報を確認した。

ヘドゥ氏は、数人の被害者は危険な状態にあり、現地の「赤新月社」の病院に搬送されたと伝え

た。ヘドゥ報道官によると、戦闘員が発射した弾丸が爆発した後、異臭のする黄色い煙が立ち上った。赤新月社の医師の一人は、「スプートニク」に、ガス中毒の4人が病院に搬送されたと伝えた。4人は、塩素化合物による中毒であることを物語る嘔吐や痙攣などの症状を起しているという。

<http://bit.ly/1SUrimg>

ダーイシュ（IS）戦闘員、シリアのダマスカス近郊で拉致した175人を処刑

（スプートニク 2016年04月08日 19:16）

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://bit.ly/1ZD7N4z>

シリア軍によれば、先日ダマスカス近郊で拉致された175人がダーイシュ（IS、イスラム国、ロシアでは活動が禁止されている組織）によって処刑された。シリア産業省の情報として先にSANA通信が伝えたところによると、ダーイシュはアブ・アシャマト地区でアルバディア・セメント社の従業員少なくとも300人を拉致した。

ダーイシュはしばしば見せしめのためにこうした公開処刑に類する措置に訴える。1月にはデリゾールで280人が大量処刑されており、モスルではダーイシュに処刑された人数は4,000人に達しているとされる。

<http://bit.ly/1SUrYYN>

各国の軍事的「食欲」、4年ぶりに大幅昂進

（スプートニク 2016年04月08日 19:43 リュドミラ・サーキャン）

© AP Photo/ Jim Macmillan <http://bit.ly/1MHtbwZ>

世界の軍事費は2015年、4年ぶりに1%上昇し、1.7兆ドルに達した。ストックホルム国際平和研究所（SIPRI）が発表した。軍事費のリーダーはやはり米国。軍事予算は、2.4%減少したものの、5,960億ドルだ。第二位は中国。軍事費は2014年に比べて7.4%増の2,150億ドルだ。第三がサウジアラビア（前年に比べ5.7%増の872億ドル）。第四がロシアで、7.5%増加の664億ドル。

以下、上位15カ国のリストには、イギリス、インド、フランス、日本、ドイツ、韓国、ブラジル、イタリア、オーストラリア、アラブ首長国連邦、イスラエルが挙げられている。アジア・オセアニア諸国における武器支出は5.4%増加。日本は第8位にランクイン。その軍事費は409億ドルで、ドイツや韓国などの国と同等。報告書によると、日本の軍事費の増加は、同国の複数年にわたる軍事費削減トレンドの終わりを意味する。日本の軍事費の増加は中国や北朝鮮からの脅威についての懸念を原因としている、とSIPRIはコメントしている。

世界の軍事費の成長は非常に明快に説明できる。退役大佐、独立軍事専門家のワジム・ルカシェヴィチ氏は語る。

「世界的テロとの闘いの先鋭化を含め、一般的に、国際的な緊張が高まっている。未解決の問題の結果として国家間のグローバルな競争や対立が高まっている。今、世界には、紛争はほとんど常にある。ひとつが収まったかと思えば、別のが起こり、どこかに第三のくすぶりが起こり……。しかも対立傾向が増加し、軍事支出の成長につながれば、それは武器市場の主要なプレイヤーには有益だ。世界が新たな冷戦の初期段階に入っていることは明らかであり、それぞれの国が、その理解するところの脅威に応じて、防衛力を整備する。ヨーロッパの軍事費の伸びがわずかである一方、例えば、アジア太平洋地域の緊張の高まりにより、日本、インドネシア、フィリピン、ベトナムなどの国の軍事費が大幅な見直しを迫られている。このレポートで言う軍事費の中には、軍備への支出、軍隊の維持費だけでなく、軍関連建設、研究開発、営業管理費、文民職員の給与などが含まれていることも心に留めておくべきだ。同時に、世界はまだ宇宙空間における軍拡競争には入っていない！世界的な軍事費の伸びに限界を定めることが出来るのは、戦争だ。これはもちろん最悪の、終末論的なシナリオであり、私は、健全な理性というものが、あらゆる野心と軍事的「食欲」に優先することを願っている。」

<http://bit.ly/20dz0en>

ナゴルノ・カラバフ、軍人の遺体捜索のため停戦

(スプートニク 2016年04月08日 20:20)

◦ Sputnik/ Asatur Yesayants <http://bit.ly/1oy3dH5>

ナゴルノ・カラバフの紛争地帯で死亡した軍人の遺体を捜索するための停戦を設けることで合意が得られた。アゼルバイジャン国防省報道部が報じた。「OSCEと国際赤十字委員会バクー事務所の調停で15時から20時まで（モスクワ時14～19時）戦没兵士の遺体捜索および搬送が行われる計画」という。

<http://bit.ly/1RJDoQ5>

プーチン大統領ホットライン、14日実施

2016年04月08日 22:18)

写真 1/2 <http://bit.ly/1Vef4rY>

ロシアのプーチン大統領とのホットラインが14日モスクワ時12時に行われる。当サイトで中継を読むことができる。

大統領へのメッセージが1週間収集される。メッセージ処理センターは7日12時からホットラインの終わりまで稼働する。8-800-200-40-40でロシア各地から電話ができる。自宅電話や携帯電話から無料で通話できる。国外からなら7(499)550-40-40、+7(495)647-40-40、+7(495)539-40-40でメッセージ処理センターとつながる。ロシアの通信事業者の携帯電話からのSMSとMMSメッセージは0-40-40番。

プーチン大統領との対話は2001年以来同じ形式で開催されている。最初の大統領任期中も首相時代も開催された。2012年のみホットラインの代わりに大型記者会見を開いた。最も長いホットラインは2011年12月に開催されたもので、4時間半続いた。

<http://bit.ly/1RJDHKF>

北朝鮮人13人が韓国へ逃げ込む

(スプートニク 2016年04月08日 23:45)

◎ AFP 2016/ SAUL LOEB <http://bit.ly/1Xm8NZe>

北朝鮮が外国で運営するレストランの従業員13人が、韓国へ逃げ込んだ。韓国紙「コリア・タイムス」が、韓国統一省の情報として伝えた。コリア・タイムスによると、男性1人と女性12人の計13人の北朝鮮人が7日、韓国に到着した。なお韓国統一省は、韓国に到着する前に脱北者たちがどの国で働いていたのかは明らかにしていない。

コリア・タイムスは、北朝鮮が外国で運営しているレストランは、国連安全保障理事会による対北朝鮮制裁によって打撃を受けているという。北朝鮮の外国レストランは、北朝鮮の主な外貨収入源の一つとなっている。この外貨収入は、北朝鮮の核およびミサイルプログラムの資金になっていると見られている。

<http://bit.ly/20nUd5h>

オフショアスキャンダル、今度は英国へ。英首相、関与を認める

(スプートニク 2016年04月09日 00:19)

◎ AP Photo/ Virginia Mayo <http://bit.ly/1SkVMuu>

英国のキャメロン首相は7日、父親のオフショアから利益を得ていたことを認めた。キャメロン首相によると、父親の事業の株式を少量所有していたが、首相になる前に販売し、利益を挙げたという。

英国のメディアは3日、「パナマアーカイブ」をめぐる他の記事と一緒に、2010年に亡くなった

首相の父イアン・キャメロン氏がパナマの事務所「モサク・フォンセカ」と関連するオフショア会社だったことを報じた。

ジャーナリストは繰り返し首相が父親のオフショアに関係していたかどうかを尋ねたが、首相はオフショア会社とは何の関係もなかったとし、以前の関係について秘匿していた。しかし今週になって首相はオフショア企業との関わりについていくつかの発言を行った。

キャメロン首相は、オフショア会社ブレアモアホールディングスに株式を持っていた。1997年に妻とともに約1万2,000ポンドで5,000株を買っていたという。首相になる準備をしていた2010年に、株式は3万1,500ポンドで売却された。

野党は首相批判を強めており、労働党議員ジョン・マン氏は、キャメロン氏は辞任するしかない、と述べている。

<http://bit.ly/1TGVNy8>

ロシアの2016年原油生産量は約5億4,000万トンに増加

(スプートニク 2016年04月09日 00:57)

© Fotolia/ stockphoto mania <http://bit.ly/1VoGLLE>

2016年のロシアの原油生産量は、5億3,600万トンから5億4,000万トンとなる。ロシア・エネルギー省のテクスレル次官が8日、記者団に語った。2015年、ロシアの原油生産量は5億3,420万トンだった。テクスレル次官によると、ロシアの2016年の原油輸出量は3.5%増加する可能性がある。ロシアは2015年、旧ソ連諸国以外の外国に2014年比10.6%増の2億2,026万7,000トンを輸出した。

<http://bit.ly/1S8mv3M>

パリ同時多発テロの共犯者拘束される

(スプートニク 2016年04月09日 01:23)

© AFP 2016/ Kenzo Tribouillard <http://bit.ly/1MliPcz>

パリ同時多発テロの共犯者とされるモハメド・アブリンが拘束された。8日、ロイター通信が伝えた。モハメド・アブリンは、昨年11月から指名手配されていた。彼はパリでテロ事件が起こる2日前、テロの実行犯サラ・アブデスラムと一緒に監視カメラに写っていた事が分かっている。

13日金曜、パリでは連続テロ事件が発生。10区にあるレストランで不審者がいきなり発砲し、サ

サッカーの独仏戦が行われ、オランダ仏大統領も観戦していた「スタド・デ・フランス」スタジアムのすぐそばで3度の爆発が発生したほか、11区のパタ克蘭劇場のコンサート会場ではテロリストらが人質を取って立てこもった。

テロでは130人が死亡、さらに300人が負傷している。一連のテロについて「イスラム国(I S)」(ロシアでは活動を禁止されている)が犯行声明を出している。

<http://bit.ly/20nVARi>

ベルギー 黒魔術の儀式を行おうとした疑いでイスラム主義者を拘束

(スプートニク 2016年04月09日 02:12)

YouTube screenshot <http://bit.ly/22QP9Jd>

ベルギーで拘束された、アブデラマン・アメルドなるイスラム主義者の男性は、邪悪な魔術の儀式を行おうとしていた可能性がある。また別の説によれば、この男は、細菌兵器を用いようとしていたとの事だ。8日、情報サイトDH.be.が伝えた。この男は、3月25日実施された警察の特別作戦のさい、首都ブリュッセルのメイザー広場近くで、パリでの同時テロに関与した疑いで拘束された。所持品のリュックサックの中から、警官らは、死に至る危険な病気を呼び起こす可能性のあるネズミの内臓や糞の入ったポリエチレン製の袋を発見した。なおサイトは「これだけでは、実際、いかなる脅威にもならないが、容疑者は、細菌兵器を準備しようとしていたのかもしれない」と推測している。また、これに関連して、アメルド容疑者が、何らかの黒魔術的儀式を行おうとしていたことも有り得るとする向きもある。

<http://bit.ly/1SH88xJ>

フィンランドの原発で放射能漏れ

(スプートニク 2016年04月09日 02:36)

◎ AP Photo/ Lehtikuva, Antti Aimo-Koivisto <http://bit.ly/1S9NATX>

フィンランド南西部のオルキルオト原発にある2つの原子炉のうち1つが、一週間の間、稼働を一時停止する。これは、アクティヴ・ゾーン内で放射能漏れが見つかったためだ。8日、フィンランドのテレビ局(フィンランド放送協会)が伝えた。原子炉の点検後、3つのバーを緊急交換する決定が下された。アクティヴ・ゾーン内では、およそ500の燃料エレメントが使われている。

<http://bit.ly/1YmhDq3>

ロシア特務機関、ダーイシュ（IS）によるロシアでのテロ計画を暴く

（スプートニク 2016年04月09日 05:45）

© AP Photo/ Militant Website <http://bit.ly/1T8QgNJ>

8日、ロシアの特務機関は、ヴォルゴグラードで作戦を行い、テロ組織ダーイシュ（IS、イスラム国）のためにシリアでの戦闘に参加する要員のリクルートを行っていたグループを拘留したグループはロシアとカザフスタンの国境に位置する人口15万人の小さな町パラソフカで活動していた。F S B職員は5人を拘束。うちの1人がヴォルゴグラードでテロを計画していた。搜索で弾薬、爆発物や爆弾用部品、過激な宗教文書が見つかった。

<http://bit.ly/1SH8xzZ>

英警察 トラックのコンテナから窒息しかけた移民を救出

（スプートニク 2016年04月09日 07:11）

© AFP 2016/ Robert Atanasovski <http://bit.ly/1Tujr1t>

英国レスターシャー州警察は、トラックのコンテナに乗っていた15人の不法移民を解放した。そのうちの1人、7歳の少年が助けを求めるSMSを送信した事が、移民達を窒息死から救った。8日、BBCが伝えた。

移民を乗せたトラックは、フランスのカレーにある「ジャングル」と呼ばれる収容所から英国に向かったものだった。出発の前、慈善組織 Help Refugees のメンバーは、必要があれば助けを求めよう、少年に携帯電話を渡したという。

その後、少年はSMSを送り「自分達はコンテナの中で窒息しそうだ。ドライバーは、SOSのシグナルに反応してくれない」と訴えた。この連絡を受け取った Help Refugees のメンバーは、英国警察に通報、すぐさま警察は問題のトラックの搜索に着手した。

<http://bit.ly/23tb4oY>

アナリスト：米国はデフォルトの危機に直面する

（スプートニク 2016年04月09日 20:21）

© AP Photo/ Richard Drew <http://bit.ly/1YmikzF>

米国経済は間もなく「巨大な波」に襲われる。企業がデフォルトを起こし、景気後退はほとんど不可避だ。ソシエテ・ジェネラル銀行のアナリスト、アルバート・エドワーズ氏が述べた。8日、

ニュースポータル「ビジネスインサイダー」が報じた。

不況の恐れ of 主な要因はとして米国企業の利益の急激な減少が挙げられている。米国企業部門は債務に陥ろうとしているという。エドワーズ氏は投資家らに次のようにアドバイスしている。

「見込みの悪い資産クラスを1つ挙げるなら、デフォルトの恐れがあまりに高く、投資家にショックを与えかねない、米国企業の社債である。」

<http://bit.ly/1TJkjPo>

イラン、アラブ諸国よりも低い価格でアジアに原油を販売する意向

(スプートニク 2016年04月09日 09:04)

◦ AP Photo/ JOHN MOORE <http://bit.ly/lpsTdjN>

ロシアとサウジアラビアが原油の凍結について合意に達しようとしている一方、イランは低価格で原油を売って市場シェアを拡大しようとしている。ブルームバーグが報じた。

5月、イラン国営石油会社は、競合国よりも低価格で原油フォロザン・ブレンドを販売する。イランはライト原油を中東基準価格を60米セント下回る価格でアジア市場に商品を提供する意向。

イランは核開発計画にちなむ制裁でここ数年間に失われた市場シェアを取り戻す計画だ。

イランは1月の制裁解除後、欧州への原油輸出を再開することができた。4月初頭には、同国のビジャン・ザンガン石油大臣が、イランは3月、日量200万バレルに原油と天然ガスコンデンサートの輸出を増加させたと述べた。

金正恩：I C B Mエンジンテストで核攻撃能力を拡張する

(アップデート 2016年04月09日 15:43)

◦ Sputnik/ Ilya Pitalev <http://bit.ly/1URBm20>

北朝鮮の朝鮮中央通信は土曜、北朝鮮指導者が立ち合いのもと、ソヘ（トンチャンニ）発射場で大陸間弾道ミサイル（I C B M）のエンジンテストに成功したと発表した。「テストの成功により、米国を始めとする敵に核攻撃を行う能力が手に入った」と金正恩氏は述べている。共同通信が伝えた。

金正恩氏は「米国の核の脅威に対応して、核攻撃の方法を多様化することができた。核兵器に対抗するには核兵器しかないからだ」と強調し、また、エンジンテストは5月に開催される「労働党

大会への科学者と技術者からの最大の贈り物」と呼んだ。

<http://bit.ly/20rbg6B>

米国、軍事衛星打ち上げのためにロシアのエンジン 18 基が必要

(アップデート 2016 年 04 月 09 日 17:12)

◦ Sputnik/ Ilya Pitalyev <http://bit.ly/1PhR5Fr>

米国は、少なくとも 6 年間は、独自のロケットエンジンを手に入れることができない。ロシアは依然として宇宙に行くために手が届き信頼性の高い選択肢だ。米国防総省が述べた。

米国防総省は 6 年間で独自のロケットエンジンを手に入れるまで軍事衛星打ち上げのためにロシアの RD-180 エンジン 18 基が必要となる。ペンタゴンの代表がロイターに語ったところでは、米国は、少なくとも 2 つの手が届き信頼性の高い選択肢を持っている必要があり、米国はロシアの RD-180 に頼ることになる。「6 年間は新しいエンジンが手に入らないので、この移行期間は RD-180 を必要とする」という。

<http://bit.ly/1YmjwD2>

北朝鮮、「核リュックサック」はハッター？

(アップデート 2016 年 04 月 09 日 17:59 タチヤナ・フロニ)

◦ REUTERS/ KCNA <http://bit.ly/20rbCKc>

韓国は北朝鮮の「核リュックサック」の謎を解明しようとしている。2013 年と 2015 年、平壤でのパレードで、北朝鮮の兵士が胸に提げていた不思議なリュックサックのことだ。ラジオ局「自由アジア」の最近の報道では、このいわゆる「核リュックサック」は、「放射性物質入りの多目的爆発物」だという。

北朝鮮の消息筋によると、「核リュックサック」は、「衛星」と呼ばれる多目的爆弾の一種。タイマー機能、電磁干渉を発生させるシステムおよびミサイル誘導装置を搭載しているとされる。「衛星」の放射線危険度の兆候は、中に放射性物質が含まれていることを意味する。「核リュックサック」は様々な演習で使用されているとの情報もある。北朝鮮空軍がパラシュートに「核リュックサック」をセットしたかと思えば、別の演習ではミサイル弾頭に使われる。重量は 30 キロ弱。有事の際には兵士 1 人につき「核リュックサック」2 つが持たされるという。軍指導部は今年 2 月から、その使用法を説明し始めている。

平壤での軍事パレードと「核リュックサック」にまつわる北朝鮮の消息筋情報により、世界のメ

ディアは、「北朝鮮はミニチュア核爆弾を持っているのではないかと懸念しはじめている。しかし、北朝鮮の科学者やエンジニアに、そこまで先進的な軍事的核技術があるかは疑問である、とロシアの軍事専門家ウラジーミル・エフセーエフ氏。

「いわゆる核ブリーフケース、事実上の核地雷を作るためには、非常に高いレベルの核技術が必要だ。事実上、約 1.5kg まで、使用されるプルトニウムの量を低減することができなければならない。北朝鮮はこのような技術を持っていない。北朝鮮はせいぜい約 6.5 キロまでしかプルトニウムを低減できない。よって「核リュックサック」やブリーフケースなどありえない。北朝鮮の技術は低く、少量の核分裂性物質で核爆発を起こすことはできない。これは純然なるイミテーションだ。もちろん、「核リュックサック」を、いわゆるダーティ・ボムとして使い、通常弾頭で爆破させて周辺に放射性物質を拡散させ、土地を汚染することはできる。しかし、いわゆる「核リュックサック」はハッター、韓国への圧力要素だ。ミニチュア核兵器はロシアと米国、2つの国だけにしかない。しかし、それらも限られた時間しか有効でない。製造後、小型核弾頭の機能を回復するために、所定の技術的手順をふむ必要がある。しかし、そのような仕事は、ロシアでも米国でも行われていない。したがって、このタイプの弾頭は、ロシア、米国にもないのである。その使用は戦術核弾頭削減合意で否定されているのだ。ミニチュア弾薬の保管は非常に深刻な問題を抱えている。最大のものは盗難だ。このタイプの弾薬を不正アクセスから保護することが困難なのだ。このようなものがテロリストの手に渡ったらどうなるか。ミニチュア弾薬の保持を否定した時点では、テロの脅威はまだ今ほど強力ではなかった。しかし、今では、あの選択が正しかったことは明らかだ。今日、このような武器を持っているものは、世界に誰もいないと信じている。」

<http://bit.ly/1SH9VCT>

ロンドンで「パナマ文書」スキャンダルにより英首相の辞任を求めるデモ（動画）

（アップデート 2016年04月09日 21:30）

© AP Photo/ <http://bit.ly/1RYq5YL>

9日ロンドンで、多数の市民が街頭に繰り出し「パナマ文書」スキャンダルに関連し、首相の辞任を求めた。

先に、パナマの法律事務所「モサック・フォンセカ」の文書が公開されたことにより、世界各国の一連の政治家やその関係者が、租税回避地での会社設立に関与していたことが暴露された。

動画 <http://bit.ly/1N10iAx>

英国のオフショア・カンパニー「Blairmore Holdings」の責任者の一人であるキャメロン首相の父親も、そうした会社設立を通じて税金逃れをしていたと非難されている。キャメロン首相自身、首相の座につくまで、この会社の株主であったことを認めた。なお文書の信憑性は、今のところ誰によっても確認されていない。「モサック・フォンセカ」は、文書の真偽を証明するのを拒否して

いる。

<http://bit.ly/23tdGTX>

ノルウェーの政治家 自分を暴行したソマリア人難民に罪の意識を感じると告白

(アップデート 2016年04月09日 22:17)

◦ AFP 2016/ SAKIS MITROLIDIS <http://bit.ly/1WkNhWv>

ノルウェーの政治家ノダル・ハウケン氏は、心理学の諸問題をテーマにしたテレビ番組の中で、彼を暴行したアフリカ人難民を強制退去させたことに罪の意識を感じていると告白した。新聞「デイリー・メール」が報じた。

彼は、自宅でソマリア出身の難民に暴行を受けた。その後、難民は逮捕され、刑務所に4年半収監された。ハウケン氏は、男性が刑期を負えソマリアに強制送還されると知った時、この男性が、ソマリアで大きな困難に直面することに対し自責の念に駆られたという。

ハウケン氏は「私の人生は、この男によりぶち壊されたが、強制送還されたことに罪の意識を感じている。なぜなら、自分が、彼をソマリアでの暗い不確実な未来に帰した原因になってしまったからだ」と述べ「ああした人間を生み出したのは、彼を戦争と絶望の中で育てた不完全な世界である」と付け加えた。

<http://bit.ly/1SHb4KA>

安倍首相「挑発には厳しい代償が伴う」と警告

(アップデート 2016年04月09日 23:31)

◦ AFP 2016/ Kazuhiro Nogi <http://bit.ly/21lums14>

9日、安倍首相は、北朝鮮による大陸間弾道ミサイル用新型エンジンの燃焼実験実施に関連して「北朝鮮は、挑発行為に対する厳しい代償を支払うことになるだろう」と述べた。

共同通信に寄れば、安倍首相は、東京都内で開かれた日本人拉致問題に関する集会で、次のように発言した—

「北朝鮮は、国際社会に耳を傾けることなく挑発的行為を続けている。このような挑発行為には必ず厳しい代償が伴うものだ。」

また安倍首相は「拉致・核・ミサイルといった諸懸案を解決しない限り、北朝鮮は明るい未来を

描くことはできない」と強調した。

<http://bit.ly/221lsN7>

ビンラディン殺害者、飲酒運転でつかまる

(アップデート 2016年04月09日 23:41)

◦ Flickr/ JBrazito <http://bit.ly/1VeCZYT>

テロ組織「アルカイダ」のリーダーオサマ・ビン・ラディンを殺害したとされる元米海兵隊員ロバート・オニール氏が飲酒運転でモンタナ警察に逮捕された。ロイター通信が報じた。エンジンが掛った状態で駐車場に停まった車の中で寝ていた同氏を警察が逮捕した。分析でオニール氏がアルコールを使用していたことが示された。違反者は警察署に連行され、飲酒運転の容疑をかけられた。2014年、38歳のオニール氏は、2011年5月の米特殊部隊の作戦の中でビンラディンを射殺したのは自分だ、とメディアに訴えた。

<http://bit.ly/1SHbvV9>

オーストリア政府、ヒトラーの家を接収か

(スプートニク 2016年04月10日 00:42)

◦ Sputnik/ <http://bit.ly/1TWYPeQ>

オーストリア外務省がアドルフ・ヒトラーが誕生した家を所有者から接収するかもしれない。オーストリアの独語紙オーバーエスターライヒ・ニュースが伝えた。オーストリアのブラウナウ・アム・イン在住のポメラさん一家が住む3階建ての家は、1889年に後の独裁者アドルフ・ヒットラーが誕生した家として知られている。オーストリア外務省は長年この家の購入を希望していた。「所有権の剥奪がこの家を過激派団体の使用から守る唯一の手段だ」とオーストリア外務省は声明を発表した。

<http://bit.ly/1Vgs3cF>

ロシア国会議員ら、シリア指導部と会談

(スプートニク 2016年04月10日 07:27)

◦ Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <http://bit.ly/1PMU6gp>

ロシア国会議員らが土曜、実務訪問でシリアに到着した。インターファクス通信が報じた。「上院

議員ドミートリー・サブリン、下院議員セルゲイ・ガヴリロフを含む国会議員グループがシリアへの人道任務に就いた」。アレクサンドル・ユシチェンコ下院議員（共産党）が土曜、インターファクス通信に語った。

ユシチェンコ氏はまた、訪問中、シリア指導部、人民評議会メンバーの代表、議会議長との一連の会合が予定されていると述べた。また、議員が携えた人道物資に関する一連の活動も計画されている。

<http://bit.ly/1Wk0q0f>

ヒラリー・クリントン氏、地下鉄の改札で苦戦（動画）

（スプートニク 2016年04月10日 08:41）

© AP Photo/ Charlie Neibergall <http://bit.ly/20rfif0>

選挙運動は気まずさを残して終わった。ヒラリー・クリントン氏はもっと市民の目線に近づこうとニューヨークの地下鉄を利用することにしたが、5回目の挑戦でやっと改札をくぐることができた。8日、英紙ガーディアンが伝えた。地下鉄の改札は次期米大統領候補のクリントン氏を通したくないかのように頑なに入場を拒んだ。この様子を記者や地下鉄利用者が見ていたが誰も助けようとする者はなかった。

twitter.com/ <http://bit.ly/1SoUoHi>

<http://bit.ly/1N1PTXb>

ブルームバーグ：イランは「1カタール分」原油生産を拡大する計画

（スプートニク 2016年04月10日 11:45）

© Fotolia/ stockphoto mania <http://bit.ly/1VoGLLE>

イランはカタール一国の生産量に相当するだけ原油生産量を増やす計画。しかし、この目的を達成できるのは20年代初頭だという。ブルームバーグが報じた。イランのビジャン・ザンガネ石油大臣は繰り返し、イランは制裁以前の生産量を回復する意向だ、と発表している。2017年3月までに日量80万バレル生産量を増加させ、400万バレルとする目標。イランは17日にカタールでOPECとロシアが生産凍結で合意をするかどうかに関わりなく行動するという。現在、イランは日量320万バレルを生産、うちの半分が輸出されている。

<http://bit.ly/1N1Qrfr>

イケア、ロシアで生産された商品の輸出を決定

(スプートニク 2016年04月10日 12:35)

© Flickr/ slimmer jimmer <http://bit.ly/1VgsW4Q>

スウェーデンの小売店イケアはロシアに生産拠点を築き、一部商品を国外に輸出する。産業貿易省のヴィクトル・エフトゥホウ次官が述べ、ロシアのメディアが報じた。「イケアは注文者となり、国内工場では商品の40%を生産する」と次官。亜麻製品の輸出も合わせて行われるという。2015年春、イケアは、2020年までにロシアの既存および建設予定のショッピングセンターの発展に20億ユーロを投じる計画を発表した。

<http://bit.ly/1NhG5D6>

アレッポ 地雷爆発でシリア人の子供6人死亡

(スプートニク 2016年04月10日 15:47)

© REUTERS/ Abdalrhman Ismail <http://bit.ly/1RNyhyp>

シリア北部アレッポのダルブ・ハサン村で、テロ組織「ダークイシュ（IS、イスラム国）」の戦闘員が残した地雷が爆発し、子供6人が死亡した。9日、通信社サナ（SANA）が報じた。子供6人はその場で死亡し、さらに数人が重傷を負った。テロリストらは、撤退する際に爆発物をたくさん敷設し、自宅へ戻った一般市民がその犠牲となっている。

<http://bit.ly/1MoCsQY>

在トルコ米国大使館、新たなテロの脅威を警告

(スプートニク 2016年04月10日 16:29)

© AFP 2016/ Pablo Martinez Monsivais <http://bit.ly/1PGDzpa>

トルコの米国大使館は、イスタンブールやアンタルヤといった観光地でのテロの脅威について米国民に警告した。公共の場所を避け、個人的なセキュリティ対策を行うよう勧告がなされた。トルコ情勢は非常に緊張したままで、テロの脅威が残存している。3月、自爆テロ犯が、市の欧州部の観光名所イスティクラル通りでテロを行った。テロリストに加えて4人、すなわち3人のイスラエル人とイラク人が死亡、36人が負傷した。

<http://bit.ly/1RZWY7h>

独外相：ロシアの参加なしに国際紛争を解決するのは不可能

(スプートニク 2016年04月10日 16:48)

© AP Photo/ Sergey Ponomarev <http://bit.ly/1MoD74U>

ドイツのシュタインマイヤー外相は、ロシアが「G8」のメンバーに復帰するは可能だとの見方を表したが、それは一定の条件の下でのみ可能となるとの考えを表した。シュタインマイヤー外相は、10日に広島で開幕するG7外相会議を前に、「私はG7というフォーマットが長く続くのを望まない。我々はG8フォーマットへ戻るための条件をつくる必要がある」と述べた。

外相は、ロシアがG8へ復帰する条件について、同国がウクライナ危機の「政治的解決」と、「シリアにおける平和構築での建設的な役割」の達成に貢献することが必要だと強調し、「ロシアの参加なしに重要な国際紛争の解決が不可能なのは明らかだ」と述べた。シュタインマイヤー外相は、「もちろんG7の枠内で、（ロシアのG8への）復帰がいつ、どのような条件で可能となるのかを議論する」と指摘した。

<http://bit.ly/1RZXLoL>

ギリシャ 中国コスコにギリシャ最大の港を4億1,900万ドルで売却へ

(スプートニク 2016年04月10日 17:00)

Р И А Н о в о с т и <http://bit.ly/25TJbsx>

ギリシャ政府は、同国最大の港ピレウス港の売却について、中国コスコ（Cosco）社と4億1,900万ドルの契約に調印した。8日、ギリシャの通信社カシメリニ（Kathimerini）が報じた。契約によると、中国のコスコは、ピレウス港の51%の株式を取得、港へ3億5,000万ユーロを投資し、5年後さらに16%の株式を受け取るという。

<http://bit.ly/1Q2oNka>

G7外相会合 独外相を待たずに行われる

(スプートニク 2016年04月10日 17:21)

© AFP 2016/ KARL-JOSEF HILDENBRAND <http://bit.ly/1Njr3wx>

広島で10日、G7外相会合が開幕したが、ドイツのシュタインマイヤー外相は、専用機のトラブルで出席できなかった。シュタインマイヤー外相は10日の公式日程を全て欠席するほか、予定されていた岸田外相との会談も中止となった。

G 7 外相会合では、テロ対策、海洋安全保障、核軍縮などについて協議されるほか、中東およびウクライナ情勢にも関心が払われる。10日に広島で開催されたG 7 外相会合では、中国と他の諸国との領有権争いに関連して、中国が中心テーマとなる。また2日間にわたって開かれる会合では、ウクライナ、テロ対策、中東からの難民のほか、北朝鮮の核開発、経済問題なども議題に含まれる見込み。

<http://bit.ly/1qCBV30>

ウクライナ初の電動4輪車 ネットで笑いものに（写真）

（スポーツニク 2016年04月10日 18:38）

© Fotolia/ aviavlad <http://bit.ly/1K4ig5x>

ウクライナの「エレクトリック・マラソン・インターナショナル（Electric Marathon International）」社は、先日モナコで「ユニークな開発」、電動自動車のプロトタイプ「Synchronous」を発表した。「エレクトリック・マラソン・インターナショナル」社は、「非常に快適に」町を走行できるであろうウクライナの新概念を、ドライバーたちが評価するとの確信を抱いている。

twitter.com/ <http://bit.ly/1qhWYIA>

一方でフェイスブックの利用者たちは、ウクライナのエンジニアたちがつくったこの作品に懐疑的な態度を示している。

twitter.com/ <http://bit.ly/1Njs2gy>

あるユーザーは、「皆がこの贅沢な作品の価格に非常に興味を持っている」と書き込み、別のユーザーは、「ウクライナではあらゆるものから自動車を組み立てることができる！」と答え、さらに別のユーザーは、「帆も作りつけたりして」とジョークを飛ばした。

<http://bit.ly/1qIkX16>

英首相、母親から 20万ポンドの贈り物を受け取っていた

（スポーツニク 2016年04月10日 19:20）

© AP Photo/ <http://bit.ly/1qhX434>

8日、スカイニュースは、英キャメロン首相が2010年に亡くなった父イアン氏から30万ポンドを相続していたことに加えて、母メアリー氏から20万ポンドの贈り物を受け取っていたと報じた。

首相は、2014～2015 会計年度、7 万 6,000 ポンドを納税。20 万ポンドあまりの収入からとられたものだ。損益計算書の公表の発端は、キャメロン首相の父がオフショアファンドの創設者の一人だったという事実を明らかにした「パナマ文書」の公開だ。これについて英国社会は議論が紛糾しており、土曜ロンドンで政府の退陣を求める集会が開催された。

<http://bit.ly/1N39Nkz>

ウクライナのヤツェニューク首相 辞任を表明

(スプートニク 2016 年 04 月 10 日 23:49)

© Sputnik/ Stringer <http://bit.ly/1UU89V0>

ウクライナのヤツェニューク首相が 10 日、辞任を表明した。ヤツェニューク氏は、毎週行っているテレビ演説で、「私はウクライナ首相の全権を返上することに決めた。12 日（火）、決定は最高議会で提出される」と発表した。

<http://bit.ly/1UU8asb>

ウクライナのヤツェニューク首相：新政府が直ちに形成されなければ、ウクライナの不安定化は避けられない

(スプートニク 2016 年 04 月 10 日 23:49)

© REUTERS/ Valentyn Ogirenko <http://bit.ly/1Srmamy>

10 日、ウクライナのヤツェニューク首相は、辞任を表明した。ヤツェニューク氏は、新政府が直ちに形成されなければ、ウクライナの不安定化は避けられないと述べた。ヤツェニューク首相は演説の中で、「辞任後にウクライナ新政府が直ちに決まらなければ、このような見通しは避けられない」と語った。

<http://bit.ly/1N3a0Ec>

パルミラ、ロシア軍による地雷撤去作業が続く

(スプートニク 2016 年 04 月 11 日 06:32)

写真 1/4 <http://bit.ly/23nvgMH>

シリアの古代都市遺跡パルミラはユネスコ世界遺産に登録されている国内 6 つの遺跡の 1 つだが、昨年の 5 月中旬よりダーイシュ（IS、イスラム国）の占領下にあった。解放後の現在、市民は再

び日常に戻りつつあるがロシア軍工兵が今なお地雷の撤去作業に当たっている。先月 27 日、シリア政府軍と義勇軍「砂漠の鷹」、そしてイランの特殊部隊はロシア航空宇宙軍の支援のもとパルミラを完全に解放した。

水や電気などの生活インフラが整っていないために市民はすぐに自宅に戻るわけにはいかず、さらにダーイシュの戦闘員が撤退の際に大量の地雷を仕掛け、固定用ロープを張り巡らせていったことも帰宅を困難にしている。シリアのホムス県のタラル・アル・バラジ知事はロシア航空宇宙軍がパルミラの解放時に決定的な役割を演じたと発言した。

<http://bit.ly/1Q2pTFD>

ドイツ防諜当局：ダーイシュ（IS）はドイツの都市でテロを準備中

（スプートニク 2016 年 04 月 11 日 07:20）

◎ AP Photo/ Militant Website <http://bit.ly/1PhYorU>

ドイツ連邦憲法保護庁のハンス・ゲオルク・マーセン長官は、過激派ダーイシュ（IS、イスラム国）がドイツでのテロを準備しているという情報への懸念を表明した。ヴェルト・アム・ゾンタークが報じた。

「ダーイシュはドイツとその国益に対するテロを望んでおり、それを自らのプロパガンダで呼びかけている。」

また、マーセン氏は、イスラム主義者による難民のリクルートの問題について語った。「過激化の大いなる脅威」が見られるという。特に危険なのは過酷な労働に耐えられる子供や肉体的に強い若い男性だという。

<http://bit.ly/1VgVCvq>

日本の防衛に勤しむ女性たち

（スプートニク 2016 年 04 月 11 日 09:27 リュドミラ・サーキャン）

◎ 写真：Yokohama1998 <http://bit.ly/1SaTpRe>

軍の女性化が日本にもおよんでいる。補助員でなく、職業軍人の話だ。以前は女性は主に医療従事者として自衛隊に勤務していたが、今やヘリを操縦し、輸送航空機や哨戒機で飛行することも許可された。

昨年、防衛省は、女性が F-15 と F-4 のパイロットとして勤務し、ミサイル艇や掃海艇に勤務する

ことを許可した。しかし、女性の潜水艦勤務は今も禁止されたままだ。その点日本は同盟国米国に遅れている。米国では女性はすべての軍種で勤務が許可されている。

今年、日本史上初めて、護衛艦「やまぎり」艦長に44歳の菅野三穂氏が任命された。同氏は1996年に女性1期生として防衛大を卒業した。横須賀に基地を置く「やまぎり」には同氏のほかに9人の女性が配属されており、女性用のキャビンとトイレが備えられた。女性兵士は日本で年々人気が高まっている。今では約1万3,000人の女性兵士がおり、海上自衛隊には2,400人の女性がいる。2030年までに、女性兵士の総数は2万人に増加する見込み。2007年には小池百合子氏が防衛大臣を務めた。もっとも、在任わずか二ヶ月弱だったが。

twitter.com/ <http://bit.ly/1YolrHf>

女性の兵役についての意見は世界各地で異なっている。多くは依然として軍隊は女性の仕事ではないと考えているが、軍務を決意した女性は、それによって制止されることはない。疑問は、女性たちを軍務に駆り立てるものとは何か、だ。自分たちだって男性より弱くはないということを示したいという願望か。男性がたくさんいる場所にいることが単に快いのか。自分の国を守るような職務の一部になりたいということなのか

おそらく、人それぞれ動機は異なる。が、多くの将校が、女性は軍務に惜しみなく自己の力を投じ、軍隊に入れば良心的に務める、と話している。

兵役を含め、ある種の活動では、女性はしばしば男性より効果的に働く。退役大佐で独立軍事専門家ワジム・ルカシェヴィチ氏は語る。

twitter.com/ <http://bit.ly/1TLicKZ>

「女性はその心理生理学的特性により、一連の作業において男性にまさる働きを行える。例えば、様々なシステムオペレーターとしては、女性はより忍耐強く、より丁寧で、より思慮深い。長い時間単調な作業を行えるのだ。優秀な無線オペレーターがいつも女性だったことも偶然ではない。このように、軍務においても、女性が男性よりよく働ける一連の活動分野はあるのである。なぜ女性が軍務につくのか。それぞれが独自の動機を持っていると思う。同様に、女性の入隊を許可するすべての国に、独自の理由づけがある。男女平等の観点からは、男性の力によってしか処理できず、女性では物理的に負荷を処理できない場合にのみ、女性の進出が阻まれるべきだと思う。鍛冶屋や荷物持ちなどを女性がするというのは想像するのが難しい。しかし、知性、知識、経験、スキル、反応、直感を必要とするすべての他の領域において、男女不平等の余地はない。しかも、軍隊に女性がいると、男性集団の心理的な環境と規律が向上する。」

志願女性兵士を認めている国は現在、世界で20カ国あまり。イスラエル、ミャンマーでは女性の徴兵があり、今年からはノルウェーでも実施。ロシア連邦軍では現在、女性兵士は5万人で、うち将校が3,000人。

インドでは、女性将校は約 1,100 人。韓国では約 3,000 人。北朝鮮軍の女性兵士数に関するデータは公開されていない。しかし、国際的な軍事専門家の推計によると、その数は、北朝鮮軍の総数の 10%に達する可能性がある。

<http://bit.ly/23nvH9I>

ラヴロフ外相、ロシアの外交政策の新しいコンセプトを発表

(スプートニク 2016 年 04 月 11 日 10:29)

© AP Photo/ Alexander Zemlianichenko <http://bit.ly/11Lcpa9>

プーチン大統領の命令により、ロシア外務省は外交政策の新しいコンセプトを策定している。9 日、ロシアのセルゲイ・ラヴロフ外務大臣が述べた。

ラヴロフ外相によると、プロジェクトの基礎となるのは「将来的には、地球規模の問題の共同解決を目指し、主要な力の中心との相互作用」。外相は繰り返し一極世界に反対し、地球規模の問題の共同解決を提唱している。外相はまた、「すべての問題に即座に答え、魔法のような公式を発明することは」不可能であると付け加えた。「しかも現在の国際情勢がこのような有様だから、間違いない。情勢は複雑だ」とラヴロフ外相は強調した。

<http://bit.ly/1SrnqWX>

ロシアの対空および対ミサイル防衛は常に更新され、改善されている

(スプートニク 2016 年 04 月 11 日 11:41)

© Sputnik/ Pavel Gerasimov <http://bit.ly/1QRevTT>

ロシアの対空および対ミサイル防衛は常に更新され、改善されている。ロシア航空宇宙軍司令官で大将のヴィクトル・ボンダレフ氏が記者らに述べた。

「我々は常にそれに取り組んでおり、1 秒も停止する権利はない。ゆえにロシアの対空および対ミサイル防衛ならびにロシア航空宇宙軍は絶えず進化している」という。宇宙軍の技術的な改善に向けた作業も同様に進行中である、と司令官は強調した。

動画 <http://bit.ly/1oPdoXZ>

<http://bit.ly/23nweZ7>

ケリー国務長官 米国による広島と長崎への原爆投下に対して謝罪せず

(スプートニク 2016年04月11日 17:25)

写真 1/2 <http://bit.ly/1WoAHFI>

11日に広島市の平和記念公園を初めて訪れたケリー米国務長官は、米国による日本の都市への原爆投下に対して謝罪しなかった。AP通信が報じた。広島では、G7外相会合が開かれており、11日には核軍縮を呼びかける「広島宣言」が承認される予定。日本の岸田外相は、テロ対策、海洋安全保障、朝鮮半島やウクライナならびに中東情勢に関連した問題も議題となると伝えた。

ケリー国務長官は、1945年の米国による原爆投下後に初めて広島を訪れた米政府を代表する初の高官となった。広島への原爆投下では、およそ14万人が犠牲となった。またケリー長官の広島訪問の意向は、オバマ米大統領が任期終了までに広島を訪問する可能性があるとのマスコミの噂をかき立てた。広島と長崎の両当局は、何十年にもわたって核兵器の恐怖と無慈悲さを米大統領が自分の目で評価するために両都市を訪れるよう訴えているが、いずれの試みも失敗に終わっている。

<http://bit.ly/1SKtLwX>

ロシア、イランにS-300 第一弾出荷

(スプートニク 2016年04月11日 17:12)

© Sputnik/ Pavel Lisitsyn <http://bit.ly/1VP5RFG>

二国間契約に基づき、ロシアの対空ミサイルシステムS-300の第一弾がイランに届けられた。イラン外務省のジャバリ・アンサリ報道官が発表し、Mehr通信が伝えた。「納入時期はたびたび変更したが、合意は実現の過程であるとこれまでも述べてきた通り、今日、最初の部品がイランに到着した。残りも逐次届く」と同氏。

<http://bit.ly/1ScriB9>

EU オランダの国民投票を考慮せずウクライナとのビザ免除提案へ

(スプートニク 2016年04月11日 17:24)

© REUTERS/ Valentyn Ogirenko <http://bit.ly/1PVKpry>

欧州委員会は4月、ウクライナとのビザなし制度の導入を提案する方針。なおオランダで実施されたウクライナとEUの連合協定の是非を問う国民投票では、反対票が多数を占めた。ロイター通信が、EU指導部筋の情報として伝えた。

なお消息筋によると、欧州委員会の提案には、人の移動が急激に高まった場合には、再びビザ制度へ戻る可能性が含まれるという。

ウクライナのクリムキン外相は8日、EUとの連合協定批准に関するオランダの国民投票の結果は、ウクライナがEU加盟国とのビザなし制度を得る妨げにはならないと発表した。

欧州委員会の提案が発効されるためには、過半数のEU加盟国と欧州議会の承認が必要となる。

オランダで実施された国民投票の勧告的性格を有する暫定開票結果によると、反対は61.1%、賛成は38.1%だった。投票率は32.2%で、投票結果が有効となるために必要な30%を上回った。

<http://bit.ly/20wSTgy>

スタヴローポリ、自爆テロ犯3人が警察署そばで爆発

(スプートニク 2016年04月11日 17:41)

◎ Sputnik/ Evgeny Biyatov <http://bit.ly/1SuNa4s>

スタヴローポリ地方のノヴォセリツキー地区の内務省支部建物そばで自爆テロ犯3人が爆発した。当局によれば、爆発は自爆テロ犯3人によるものとみられる。犠牲者や破損の情報は届いていない。

<http://bit.ly/1SKuCOz>

イラク、一日あたりの原油生産量を455万バレルという記録的な水準に増加

(スプートニク 2016年04月11日 20:39)

◎ REUTERS/ Essam Al-Sudani <http://bit.ly/1SVv6F6>

イラクは3月、原油生産量を455万バレルという記録的な水準に増加させた。イラク国営石油マーケティング(SOMO)社の情報をもとにブルームバーグが報じた。2月、イラクの原油生産量は一日あたり446万バレルだった。3月の原油輸出は一日あたり381万バレルに増加。2月に比べて17.9%の増加だ。国際エネルギー機関(IEA)によると、1月のイラクの原油生産量は一日あたり443万バレルだった。

2月16日、ドーハでの会議で、ロシア、サウジアラビア、カタール、ベネズエラは、世界の原油価格を維持するために、2016年の平均生産を1月のレベルで維持することに合意したが、他の産油者がこのイニシアチブに参加する場合にのみ、という条件がついた。支持を表明した国にはエクアドル、アルジェリア、ナイジェリア、オマーン、クウェート、アラブ首長国連邦がある。石油輸出国機構(OPEC)加盟国および非加盟国の会議がドーハで4月17日に行われ、生産凍結への取り

決めが議論される。

<http://bit.ly/1ViY6sk>

チェコ農業会議所 対ロシア制裁解除を呼びかける

(スプートニク 2016年04月11日 19:37)

◦ Fotolia/ Kristina Afanasyeva <http://bit.ly/23qlgSL>

チェコ共和国・農業会議所のミロスラフ・トマン会長は、欧州が2014年半ばにウクライナ東部での紛争を受けて発動した対ロシア制裁の解除を呼びかけた。先にトマン会長は対ロシア制裁について、「農家が販売しているのは武器ではなく食品だ」とコメントした。

なおチェコのユレチカ農相は、別の考えを示している。農相はチェコ・テレビの日曜討論番組で、非政府組織としての農業会議所の立場はある程度理解できるものの、農作物をロシアへ輸出する可能性と引き換えに人権擁護を犠牲にしてはならないと述べた。

<http://bit.ly/1S61Pb0>

ダウジョーンズ指数は1万を割り込み移民は「めまいのするようなスピードで」追放される—ポストン・グローブ、トランプ氏が大統領になった米国を示す

(スプートニク 2016年04月12日 00:54)

◦ REUTERS/ Mike Stone <http://bit.ly/1S6m1YA>

米紙ボストン・グローブは、米国の大統領がドナルド・トランプ氏になった場合に発生する可能性のある架空の事象について10日の社説で論陣を張った。それによると、世界における米国の株式市場は崩壊し、日本の米国大使は、キッド・ロック氏となる。インの記事ではトランプ氏の国民向けメッセージと、移民を「めまいのするようなスピードで」追放するという発言が、他の記事では中国とメキシコとの貿易戦争に起因する株式市場の指標の記録的下落とダーイシュ（IS）の家族の殺害を米軍兵士に命じる命令について記されている。また記事によれば、ドナルド・トランプ大統領のもとでは、ミュージシャンのキッド・ロックが日本の米国大使となり、イエローストーン国立公園はトランプ氏にちなんで改名される。

ボストン・グローブの記事 <http://bit.ly/1Vkqxa1>

<http://bit.ly/1TNWp51>

ケリー米務長官らG7の外務担当責任者 非核世界をめざし広島へ しかしその結果は…？

(スプートニク 2016年04月11日 20:45 アンドレイ・イワノフ)

© REUTERS/ Kyodo <http://bit.ly/1S29Flw>

米国のジョン・ケリー氏は、広島を訪れた米国最初の国務長官となった。広島は、1945年米国が原子爆弾を世界で初めて投下した町だ。日本人達の中には、国務長官に謝罪の言葉を期待した向きもあったが、その願いは適わなかった。そしてケリー国務長官ら、G7外相による広島訪問のその他の結果も、明るい未来を期待させるものとはなっていない。

モスクワ国際関係大学のアンドレイ・イワノフ上級研究員の見解を、以下皆さんに御紹介したい

—
会談の目的は、全体として気高いものだった。すべての人々にとって、もっと安全な世界へと続く道を皆で話し合い、核兵器のない世界のための諸条件を創り上げるという立派なものだった。会談をまとめた宣言の中で、G7の外交担当責任者達は「我々は、そうした方向に前進する」と言明し、そうした動きを困難にしている問題があることを指摘した。具体的には、シリアやウクライナなどいくつかの地域の安全状況の悪化、そして北朝鮮の度重なる挑発行為である。

シリア、ウクライナ、北朝鮮という3つの地域で起きていることが、世界の安心感を高め、軍縮を奨励するものでないことは、争う余地がない。特に、こうした地域、さらに他の一連のホットポイントにおける緊張の真の原因を考慮するなら、言うまでもないことだ。ついでに言うなら、その原因について、欧米とロシアの見方は違っており、そのことは、世界の安定と相互理解を妨げている。

欧米は、シリアでの出来事を「血塗られた独裁者」であるアサド大統領に対するシリア国民の戦いとみなしているが、ロシアは、地域の一連の国々によるアサド大統領打倒の企てとみている。なぜなら、ペルシャ湾岸のカタールからシリア領内を通じて欧州へと通ずるガスパイプライン建設を、アサド大統領が認めないからだ。そのため暴徒集団やテロリストを使って、アサド政権転覆を図っていると、ロシアは考えている。

さて、もう2年以上流血の無秩序状態が続くウクライナだが、欧米は、ウクライナ人が、ロシアの影響圏に残るのを望まず、自由をめざし汚職と闘うため「ヨーロッパへ入る選択」をしたゆえに起きたものと説明している。一方ロシアは、そうした親西欧的傾向は実際あったが、それは一部のウクライナ人の間だけで、そうした一部の人達が暴走し、国を分裂させ、内戦に導いたと見ている。またロシアは、この2年間でウクライナでは逆に汚職が増え、自由が制限された事、そしてウクライナ経済に至っては、ほぼ壊滅的な状態だ、ということをよく知っている。しかし欧米は、それを知りながら、そうした事実を認めようとしなない。

さてここで、一つの問いが生じてくる。ロシアのどこが悪かったのか、なぜロシアに対し制裁が導入されたのか？ という問いだ。また、今回広島でまとめられた宣言の中では「対ロシア制裁を

今後も続けるかどうかは、ロシアがミンスク合意を完全に履行するかどうか、ウクライナの主権を尊重するかどうかによって直接左右される」と述べられている。これは、明らかに狡猾なやり方だ。まず第一に、ロシアはミンスク合意を実現することが出来ない。なぜなら、それを守っていないのはウクライナだからだ。第二に、ロシアはウクライナの主権を尊重しており、その侵害をたくらんでなどいない。クリミアについて言えば、ロシアの一部であって、ウクライナの主権とはもう何の関係もない。これはクリミアの住民自身が、真に民主主義的手段によって、自分達で決めたことだ。

最後に、北朝鮮について言えば、すべてはかなり単純だ。世界を核実験によって脅すようなことは、もちろん、よいことではない。それゆえロシアは、つい最近の、北朝鮮当局を非難し、制裁導入を求める国連決議を支持した。しかし、米国のような力のある大国が、介入するとか、体制を打倒するとか言って小さな国を脅すのは、よくないことだ。小さな国の中では、恐怖のあまり、核兵器を作り始めている国もある。そうした行動に駆り立てた責任は、一体誰にあるのか？ それは明らかだろう。広島での今回の会議では、こうしたあれやこれやの問題に答えが出されなかった。それゆえ核兵器のない世界という夢の実現が、近づくことはなかった。

<http://bit.ly/1S6mD0y>

「世界経済におけるOPECの時代は過ぎた」ーエネルギー専門家

(スプートニク 2016年04月12日 00:56)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <http://bit.ly/1T0ys8A>

原油市場に危機を停止する方法について合意することができない石油輸出国機構(OPEC)は、もう経済的な力を失っている。コンサルティング会社H I Sのダニエル・ヤーギン副社長がフィナンシャル・タイムズのインタビューで語った。

「世界経済の決定的力としてのOPECの時代は過ぎた」とヤーギン氏。原油市場危機でOPECが統一戦線として機能することができないことが明らかになった。原油生産を凍結することができるかどうかは疑問だ、とヤーギン氏。

いま市場は、唯一の1980年代半ばにおける価格の下落とのみ比較することができるような最悪の原油価格の暴落に直面しているという。原油市場はまだ底に達しておらず、バランスは2016年の後半になってやっと成立する、とヤーギン氏。

ダニエル・ヤーギン氏は最高のエネルギー専門家の一人。1990年には、『石油の世紀』を発表、ピューリッツァー賞を受賞している。

<http://bit.ly/1WoEPWi>

ヤツェニューク前首相の記憶に残る失敗トップ 5

(スプートニク 2016年04月11日 22:04)

© AP Photo/ Andrew Harnik <http://bit.ly/1TjJQvr>

アルセーニー・ヤツェニューク氏がウクライナの首相としてロシアとの間に壁を築き、第二次世界大戦の歴史を書き換えることを試みた。スプートニクの記事から、ヤツェニューク氏の最も印象的な声明と行動を拾った。

1、ウクライナ万里の長城

2015年5月ヤツェニューク氏はロシアとの「本当の境界線」の建設の開始を発表した。プロジェクトは「壁」と呼ばれた。完成は2018年の予定だったが明らかに叶わなそうだ。お金が足りない。

2、国会における乱闘と花

2015年12月、ウクライナ首相の演説は乱闘なしでは済まされなかった。議事堂のビデオカメラにヤツェニューク首相が黒のリボンつきの花束を贈られ、足を前にして議事堂から搬出されかかる様子が映された。一般に、「足を前にして」運び出されるのは遺体である。ポロシェンコ大統領会派のオレグ・バルナ議員の抑制のきかない行動による珍事。質問への回答を続けさせるよう求めた首相は乱闘について、「馬鹿の多いことだ」と述べた。

動画 <http://bit.ly/1Nr1Ked>

3、ソ連はウクライナとドイツを攻撃した：ヤツェニュークの歴史講義

2015年1月、ウクライナのヤツェニューク首相はARDテレビのインタビューで、ロシアはいま第二次世界大戦の結果を書き換えようとしている、と述べた。ウクライナ首相は次のように語った。

「ウクライナにおけるロシアの侵略行為は世界秩序、欧州秩序に対する攻撃である。ソ連によるドイツ、ウクライナ侵略は記憶に新しい。同じことを繰り返させてはならない。第二次世界大戦の結果を書き換える権利など誰にも無い。ロシア大統領プーチンがしようとしていることは、まさにこの書き換えということである」。

ロシア外務省はドイツに対しこのウクライナ首相発言への公式な立場を表明するよう求めた。この発言を、ウクライナにおける民族主義的哲学の高揚の証左と評価した。首相発言は第二次世界大戦の犠牲者に対する倫理的な犯罪であり、このような暴言に西側がなぜリアクションを取らないのか理解に苦しむ、ウクライナ民族主義派はリベンジを目論んでいるのだ。

4、「おしゃべり」対「泥棒」：サアカシヴィリ対ヤツェニューク

2015年の終わりにヤツェニューク氏とオデッサ州知事に招待されたサアカシヴィリ氏の関係は

損なわれた。後者は定期的に汚職や無能、改革意欲なしとして首相を非難。 ヤツェニューク氏は事を荒立てないようにした。

2015年12月、国民改革評議会の会議中で内務省のアヴァコフ大臣とオデッサのサアカシヴィリ知事の間で言い争いが発生。二人は互いを泥棒とものしりあい、卑猥な表現を使った挙句、アヴァコフ大臣はサアカシヴィリ知事に水の入ったコップを投げつけた。

内務省大臣側に立ったヤツェニューク氏は猥褻な言葉でサアカシヴィリ氏の性格をこきおろした。「お前はおしゃべりだ！ 私たちは仕事を行わせるためにお前を国に招いたのだ。政治的詐欺に従事させるためではない。おしゃべり！」 ヤツェニューク氏はこのように述べ、サアカシヴィリ氏に「ウクライナから出ていけ」と叫んだ。

この「熱戦」にはポロシェンコ大統領もお手上げだったようで、止めもせず、手で顔を覆っていた。

5、「Facebookに移行せよ、味方を助ける！」

2015年10月ヤツェニューク氏はウクライナ学生にロシアのソーシャルネットワーク「VKontakte」を使用することをやめFacebookに移るよう勧めた。首相の論拠が興味深い。「創始者のマーク・ザッカーバーグがオデッサの家族の出だというだけで十分だ。味方を助けなければ」という。

不名誉な終わり：辞任を余儀なく

一般市民も信頼度が記録的な水準に減少しており、議員らは最後の2ヶ月間、ほとんど公に、誰を首相にすべきかを議論しており、西側のパートナーらは政治危機の迅速な克服の必要性を主張しており、すべての人がウクライナの首相の辞任を主張している感じがする。

<http://bit.ly/1SuQNYb>

中国で万能薬見つかる

(スプートニク 2016年04月11日 21:40)

© Fotolia/ Kurhan <http://bit.ly/1qL01Xx>

ジョン・イネス・センターの研究者たちは、コガネバナ (*Scutellaria baicalensis*) と呼ばれる中国の民間療法で用いられている植物が、がんや肝臓病の治療に役立つ物質をつくり出していることを明らかにした。雑誌サイエンス・アドバンシズ (Science Advances) で発表された。

研究により、コガネバナの根に含まれているフラボン類と呼ばれる有機化合物が、抗ウイルス作用や抗酸化作用のみならず、健康な細胞をそのまま残して悪性のがん細胞を消滅できることが分か

った。動物実験では、実際にフラボンが腫瘍の成長を停止させることが示された。

<http://bit.ly/1Q3T0IN>

米国の歴史学者・政治学者スティーブン・コーエン氏、いつ「冷戦」が終わるかを語る

(スプートニク 2016年04月11日 23:00)

◦ Flickr/ mikytex 1/2 <http://bit.ly/1Vj1ALD>

モスクワとワシントンの当局にミハイル・ゴルバチョフとロナルド・レーガンのような人々が就任したとき、ロシアと米国の新冷戦は終了する。RTアメリカのラリー・キング氏の番組「Politicking」の独占インタビューで米国の歴史学者・政治学者スティーブン・コーエンが述べた。

RT: ロシアとアメリカの関係は将来的に改善するか、または悪化するか？

スティーブン・コーエン氏: 答えは非常に短い。私はいつもこう考えてきたし、誰もがその証拠を見てきたわけだが、ロナルド・レーガンとゴルバチョフを思い出してほしい。ホワイトハウスとクレムリンにしかるべき人が就任したなら、この新たな冷戦は2週間で過去のものとなる。わずか2週間でゴルバチョフとレーガンにはできた。問題は、ワシントンでもモスクワでも、完全にその同盟国を管理できていないということだ。あまりにも多くのしっぽが犬を振り回している。米国の同盟国、NATO加盟でありながら、今、ロシアとの戦争を挑発しようとしているトルコを、シリアを、ウクライナを見てほしい。私たちにレーガンのような、立場を変更することができるリーダーを与えてほしい。私たちにソ連のゴルバチョフのような、立場を変更することができるリーダーを与えてほしい。さすれば我々は非常に迅速にこの冷たい戦争を終わらせられる。

<http://bit.ly/1qLP1My>

ダーイシュ（IS）、重要標的としてユーロ2016を名指し

(スプートニク 2016年04月12日 00:26)

◦ 写真: Youtube/PressTV Documentaries <http://bit.ly/1m9xlYD>

過激派ダーイシュ（IS）は6月10日から7月10日にフランスで開催される国際サッカートーナメント「ユーロ2016」をターゲットにしている。ブリュッセル連続テロを組織したとして逮捕されたモハメド・アブリニが述べた。

ユーロ2016の観戦を予定している人数が250万人以上に上っているにもかかわらず、現時点で欧州サッカー当局はファンの安全を考えて、空のスタンドでトーナメントを進める可能性を排除していない。2015年末ならびに2016年、欧州では一連の大型テロが行われている。

13日金曜、パリでは連続テロ事件が発生。10区にあるレストランで不審者がいきなり発砲し、サッカーの独仏戦が行われ、オランダ仏大統領も観戦していた「スタド・デ・フランス」スタジアムのすぐそばで三度の爆発が発生したほか、11区のバタ克蘭劇場のコンサート会場ではテロリストらが人質を取って立てこもった。

テロでは130人が死亡、さらに300人が負傷している。一連のテロについて「イスラム国(I S)」が犯行声明を出している。

<http://bit.ly/1oSBMIh>

クレムリン、在任中の最大の過ちについてのオバマ大統領発言にコメント

(スプートニク 2016年04月12日 01:20)

© Sputnik/ Host photo agency/Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/1Q9j0rp>

クレムリンは、在任中の最大の過ちはカダフィ政権の転覆であったとするオバマ大統領の発言にコメントした。ドミトリー・ペスコフ報道官は、今やリビアは失敗国家である、と述べた。

記者らにコメントを求められたペスコフ氏は、米国と同盟諸国のリビア作戦は国家をほとんど壊滅させたと述べた。インターファクスが報じた。「私は繰り返しリビアでとられた一連の措置について遺憾の意を表明していたプーチン大統領の言葉を引きたい。つまり軍事作戦およびカダフィ大佐の殺害のことだ。我々は今、残念ながら、リビアが失敗国家となっているのを目にしている」と報道官。

<http://bit.ly/1RQnSlo>

ケリー国務長官：米口は核兵器を放棄する用意がある

(スプートニク 2016年04月12日 04:37)

© AFP 2016/ Abbas Momani <http://bit.ly/23dxawK>

ケリー米国務長官は、他のG7各国の外相と一緒に、広島平和記念公園内の平和記念資料館を訪問した後、原爆の被害を受けても唯一形が残った広島原爆ドームを訪れた。ケリー長官は、米国による原爆投下に対して公式な謝罪をしなかったが、この訪問から強い印象を受けたと指摘した。ケリー長官は、展示について、核兵器のない平和を創造し維持する全ての人の義務について言及しているとの考えを示した。ケリー長官はまた、平和記念資料館の重要性と人類を核兵器から解放する重要性を強調したほか、核のない世界が達成可能な目標であるとの確信を示し、そのために米国がロシアと緊密に協力していると語った。

ケリー長官は、「私たちの国は、核のない世界の概念を理解しており、この兵器をどのようにして相互に放棄するかについての対話を続けている」と指摘し、ゴルバチョフ大統領とレーガン大統領の時代に両国の核ポテンシャルを5万発の核弾頭から1,500発にまで削減したことについて言及し、「我々も先へ進む用意がある」と述べた。

<http://bit.ly/1qkGXli>

キエフ、プロジェクト不足のためEUから資金得られず

(スポーツニク 2016年04月12日 08:19)

© REUTERS/ Thomas Peter <http://bit.ly/20x2VOM>

EUはウクライナのための新たな融資プログラムを始動させる予定だが、ウクライナ側にしかるべきプロジェクトが不足しているため、資金の大部分が未使用のままである可能性がある。ウクライナのEU大使ヤン・トンビンスキイ氏が述べた。

氏によると、ウクライナは様々なプロジェクトに1億8,000万ドルを融資されているが、このすべてを自己のものとするには既存のプロジェクトだけでは不十分であり、資金の多くが未使用のままである。

「ウクライナには新たな融資は不要だ。既に融資されているものが未使用であるためだ」。リヴォフの地方政府フォーラムの中で語った。トンビンスキイ氏によれば、地方自治の発展がウクライナの国全体の発展に弾みをつけると指摘。新たな決定は中央でなく主に地方自治に基づくべきである、と同氏。

<http://bit.ly/23qs02U>

サウジ国王 トルコ公式訪問のため 首都の豪華ホテル全館貸切 車500台予約

(スポーツニク 2016年04月12日 10:12)

© AP Photo/ Saudi Press Agency <http://bit.ly/1N5rfoz>

サウジアラビアのサルマン・ビン・アブドルアジズ (Salman bin Abdel Aziz) 国王のトルコ公式訪問に関連して、サウジ政府は、メルセデス-ベンツ500台を予約した他、豪華ホテルを丸ごと貸切とした。新聞「イエニ・サファク」が伝えた。

新聞報道によれば、サウジ国王は、外国訪問を極めて豪華に実施することでよく知られている。首都アンカラのファッションナブルな地区に立つ新しい五つ星ホテルは、トルコ大統領官邸にも近い。このホテルは、数日間、国王と随行員達だけの完全貸切となり、ホテルへの出入りは特別の警備の

もと監視される。

今回のサウジ国王のトルコ訪問のため、食料品や下着、洗面用具に至るまで様々なものが、サウジ本国からアンカラに数台のトラックで運ばれた。国王は、最高級の部屋が並ぶ階を全て自分専用にし、おつきのものに身の回りの世話をさせることになる。

<http://bit.ly/1S6t9Eh>

活性化する口日間のコンタクト

(スプートニク 2016年04月12日 12:02 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Mikhail Klementyev <http://bit.ly/1MwYds5>

今週4月15日、ロシアのラヴロフ外相が東京を訪問し、岸田外相と会談する。ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官によれば、ロ日外相会談の主なテーマは、プーチン大統領と安倍首相が以前合意に達したロ日首脳会談実施に向けた準備だとのことだ。

今年の初めから、ロシア政府高官の日本訪問が頻繁に行われるようになり、2月にはデニス・マントゥーロフ産業貿易相が、3月にはアレクセイ・リハチョフ副経済発展相が東京を訪れた。5月には、ユーリイ・トルトネフ副首相兼極東連邦管区大統領全権代表の日本訪問が予定されている。現在、トルトネフ副首相と林幹夫経済産業相との会談について、打ち合わせがなされているところだ。ここで思い出されるのは、林経済産業相が最近「外国との貿易取引は大きく減少したが、ロシアとの経済協力は、拡大する可能性があるし、そうならなければならない」と述べた事だ。大臣によれば「日ロ両政府は、互惠協力の復活と拡大、税関手続きの簡素化及び日ロ貿易支援に向け活発な作業を続けている」という。

2月22日、日本経済新聞のインタビューに応じた中で、アルカーヂイ・ドヴォルコヴィチ副首相は「巨大な石油ガス採掘プロジェクトをコントロールできる株式の保有を日本企業に譲渡する用意がある」と語った。また副首相は、クリル諸島での経済発展プロジェクトに日本企業の参加を容認した。日本の複数のマスコミは「こうしたすべての事は、日本との経済協力を『停滞』から抜け出させ、プーチン大統領訪日に新しい刺激を与えるためのものだ」と見ている。

ロシア国際地域発展センターのイーゴリ・メラメド事務局長は、極東を含めたロシアとの経済協力を「日本は今も関心を持っている」とし「ただ延ばし延ばしにされてきただけだ」と指摘し、次のように続けた—

「かつて安倍首相がモスクワを訪問した時に示したような立場はすべて、残っている。それは、太陽エネルギーやサハリン-1やサハリン-2を含めた古く同時に新しいエネルギープロジェクトだ。それらは、ロシアの産地から日本への原料供給を保証する。そして日本のテクノロジーを使ってロシア領内で食料品を大量生産する農業プロジェクトもある。安倍首相が述べたよう

に、我々が一緒になれば、世界全体を『食べさせる』ことができるだろう。さらに建築業や、巨大な投資プロジェクトを支える『スマートシティ』作りといったものもある。他にも流通、自動車輸送、医学クラスター、科学領域での協力で観光業の振興など、まだまだロ日協力の場はたくさんある。そのための諸条件は作られた。投資家への優遇措置も決められた。今は、一連のプロジェクトの具体的実現に向けた、注意を要する細かい作業が続けられているに過ぎない。」

なおロシア極東研究所のオレグ・カザコフ主任研究員は「日本の実業界は、大変実利的で、儲けのあることしかしないだろう」と指摘し、次のような考えを示した—

「現在日本側が、ロシアに対し極めて慎重に接しているとはいえ、二国間の経済関係は、当然、議題に入っているだろう。ロシアにとって、政治的議題を経済的なものに置き換えるのは望ましい事だが、日本は決して、北方領土要求を放棄するような事はしないだろう。日本人も含め、非常に多くの専門家達が、安倍首相がプーチン大統領との会談に対し、なぜ楽観的なのか、理解できないでいる。ここで推量できるのは、クリルの島々に関して、いかなる解決もなされまいだろうという事で、私は100%の確信を持って、そう言う事ができる。」

<http://bit.ly/23zGsCp>

岸田外相 ラヴロフ外相と日ロ対話について討議の意向

(スプートニク 2016年04月12日 14:39)

© Sputnik/ Grigoriy Sisoev <http://bit.ly/1RB5WLe>

12日、岸田外相は、東京でのロシアのラヴロフ外相との交渉で、日ロ首脳会談を見据え、両国関係全体を話し合う意向だ。日ロ外相会談は、東京で15日に予定されている。岸田外相は、記者会見で「最高レベルでの交渉を考慮して、日ロ関係全般についての討議を強く欲している」と述べた。これに先立ち、ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官も、ラヴロフ外相の日本訪問計画を公式に確認した。日ロ外相会談の主な目的は、最高レベルでの日ロコンタクトに向けた準備である。

<http://bit.ly/1XugtZn>

今年3ヵ月間で北朝鮮から韓国へ342人が逃げ込む

(スプートニク 2016年04月12日 15:11)

© AFP 2016/ Jung Yeon-Je <http://bit.ly/104MnrE>

今年に入って3ヵ月間で、北朝鮮から韓国に342人が逃げ込んだが、尾の数は、昨年と同じ時期に比べ17.5%多い。火曜日発表された韓国統一省のデータが、その事実を確認している。昨年一年

間で、北から南へ逃亡した、いわゆる「脱北者」の数は、1,276人だった。ちなみに2014年は1,397人、2013年は1,514人だった。先日明らかになったところでは、中国にある北朝鮮系レストランで働いていた13人が集団で、タイ及びラオス経由で韓国に密かに脱出した。

<http://bit.ly/1Nns8nd>

ロシア軍参謀本部：シリアのテロリストへの補給は米国の管理下にある在野勢力がいる地域を經由して行われている

(スプートニク 2016年04月12日 17:03)

◦ Flickr/ Enno Lenze <http://bit.ly/1NrtliR>

トルコ側からのテロ組織「アル＝ヌスラ戦線」の武器や人員の補給は、米国の管理下にある在野勢力がいる地域を經由して行われている。ロシア軍参謀本部機動総局の責任者セルゲイ・ルツコイ中將が伝えた。

ルツコイ中將は、次のように発表した—

「停戦体制確立の進展にもかかわらず、トルコ側からの悪党たちによる武器や人員の補給が止まっていない。米国の管理下にある在野勢力部隊がいる地域経由でも行われている。」

またロシア国防省は、トルコの砲兵隊がシリア領への根拠のない砲撃を続けていると伝えた。4月10日の砲撃では、シリア政府軍の拠点が攻撃を受けた。

<http://bit.ly/1N7waFk>

日本の護衛艦 ベトナムのカムラン湾に初めて寄港

(スプートニク 2016年04月12日 21:06)

◦ Flickr/ ePi.Longo <http://bit.ly/1SreSRU>

日本の中谷防衛相は、日本の護衛艦「ありあけ」と「せとぎり」がベトナムのカムラン湾に初めて寄港したことについて、「(カムラン湾は)地政学的な重要性から、補給支援の拠点として各国艦艇に大きな利益をもたらす」と述べ、今後も海自艦の寄港を継続させる意向を表明した。共同通信が報じた。

なお先にマスコミは、カムラン湾への寄港後、「ありあけ」と「せとぎり」はベトナム海軍と合同演習を行うと伝えた。

日本は今回のアプローチを、戦略的に重要な島や水域に対する領有権を理由にベトナムとフィリピンが中国と争っている南シナ海における自国の軍事プレゼンスの重要なデモンストレーションとしてみなしている。

<http://bit.ly/1Mt2SRw>

米国 再び保障を拒否

(スプートニク 2016年04月12日 22:30)

© AP Photo/ Victor R. Caivano <http://bit.ly/1l03f9A>

米国とNATOは、欧州MD（ミサイル防衛）システムがロシアに向けられたものではないという法的保障を提供しない。米国のローズ国務次官補（軍備管理・国際安全保障担当）が12日、発表した。ローズ国務次官補は、「我々は、法的に拘束力のある何らかの保障を与えて、米国あるいは我々の同盟国を保護する可能性を制限するようなことはしない」と指摘した。米国の代表者たちは、欧州MDについて、ロシアとその戦略ポテンシャルに向けられたものではないと何度も発表した。ロシア側にとっては、原則的に、欧州のMDがロシアに向けられたものではないという保障が言葉だけでなく、法的に拘束力を持つ形で記される必要がある。

<http://bit.ly/1Q5Hv3o>

北朝鮮GPSを妨害 危険

(スプートニク 2016年04月12日 22:53)

© REUTERS/ Jason Lee <http://bit.ly/1nRQQpj>

韓国は、北朝鮮が韓国のGPS電波を妨害しており、航空機や船舶の安全を脅かし、国際合意にも違反しているとする書簡を国連安全保障理事会に送った。韓国のジュン国連大使の名義で送られた書簡によると、北朝鮮は3月31日からGPSを妨害するシステムを使用している。GPS妨害するための信号は、北朝鮮の海州、延安、平壤、金剛山、開城の5つの地域から発信されており、GPSシステムに「危険に影響する」可能性があるという。書簡では、次のように述べられている—

「北朝鮮が行っているGPSの妨害は、韓国の安全保障を脅かし、航空機や船舶の安全を損なう挑発行為である。韓国政府は北朝鮮に対し、GPSの妨害を直ちに中止することを断固として呼びかける。」

<http://bit.ly/1Nnt7Un>

ラヴロフ外相：ロシアは露大統領訪問の具体的な時期について日本から連絡を待っている

(スプートニク 2016年04月13日 00:49)

© AP Photo/ Alexander Zemlianichenko <http://bit.ly/1lLcpa9>

ロシアのラヴロフ外相は、モンゴル、日本、中国メディアのインタビューで、ロシアのプーチン大統領の訪日を妨げているものはないと述べ、ホスト国が具体的な時期を決める必要があると指摘した。12日、ロシアのマスコミが報じた。ラヴロフ外相は、次のように述べた—

「プーチン大統領の訪日を妨げているものは何もない。招待した側に具体的な日付が出る必要がある。全ては、我々の日本の同僚たちが、いつ、自分たちはプーチン大統領にどの時期を提案するのかについて決めるのが可能だ、と感じるかにかかっている。」

2015年9月21日、ラヴロフ外相は、日本の岸田外相との会談を総括し、ロシアはプーチン大統領訪日の具体的な時期に関する日本の提案を検討すると伝えた。

<http://bit.ly/1oVSRH>

ラヴロフ外相：ロシアは南クリルの帰属について日本と完全にはっきりさせることを望んでいる

(スプートニク 2016年04月13日 00:48)

© Flickr/ Peter <http://bit.ly/1Lny0eL>

ロシアは南クリル諸島の帰属について日本と完全にはっきりさせることを望んでいる。ロシアのラヴロフ外相が12日に行われたモンゴル、日本、中国メディアとのインタビューで述べた。ロシアのマスコミが報じた。

ラヴロフ外相は、2001年に署名されたロシア大統領と日本の首相の声明を、島の帰属に関する交渉を行うための基盤と考えることができるかとの記者からの質問に、次のように答えた—

「これは、いずれにせよ声明にすぎず、批准された文書ではない。とはいえ私は、我々の目標が、4島全ての帰属に関する完全な明確さを保障することであることを確認する。」

ラヴロフ外相は、ロシアと日本の間には、1956年10月19日の共同宣言が存在すると指摘し、「1956年10月19日の宣言は、ただ署名されただけでなく、この問題に関して我々の国の間で批准された唯一の文書である」と述べた。

<http://bit.ly/1Sew1S0>

5月上旬にソチで露日首脳会談の可能性

(スプートニク 2016年04月13日 00:15)

Photohost agency <http://bit.ly/1KQsZdw>

日本の安倍首相は、ロシアのプーチン大統領と5月6日にソチで会談する方向で最終調整に入った。12日、時事通信が伝えた。時事通信は、今回の会談で「北方領土問題の進展を図り、年内の大統領来日につなげたい考えだ」と報じた。12日、岸田外相は、来日するロシアのラヴロフ外相と15日に会談し、今後の露日首脳対話を念頭に、日本側と日ロ関係について議論すると発表した。

<http://bit.ly/1TQee3B>

アメリカと北朝鮮 核戦争と交渉対話の間

(スプートニク 2016年04月12日 23:32 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ Ilya Pitalev <http://bit.ly/1VkYUx1>

中谷元防衛大臣は、記者会見で「北朝鮮が自らの核兵器や、弾道ミサイル能力の増強を企図している。対米抑止力を過信している」と述べた。

北朝鮮の発射場で、新型のICBMのエンジンの燃焼実験を行い、それが成功したと北朝鮮メディアが伝えた情報に対し、中谷防衛大臣は「仮に北朝鮮がこうした弾道ミサイルの長射程化、技術の向上をさせると同時に核兵器の小型化・弾頭化を実現した場合は、北朝鮮が、米国に対する戦略的抑止力を確保したという認識を、一方的に持つ可能性がある。仮に、北朝鮮がそのような抑止力に対する過信、誤認をすれば、北朝鮮による、地域における軍事的挑発行為の増加、重大化につながる可能性もある」と述べた。

朝鮮半島の問題に詳しいロシア人専門家のゲオルギー・トロラヤ氏によれば、今日、北朝鮮の指導部では、アメリカは北朝鮮との関係を、昔のソ連との関係をモデルにして構築しようとしているという理論が支配的である。それはつまり、お互いを滅亡させることが確実である、という危険性を基にしている。そして北朝鮮は、自国の核弾頭の威力増大をデモンストレーションするという戦略を選んだ。

これは、アメリカに交渉のテーブルにつかせるためであり、アメリカと何らかの妥協点を見出したいためである。このようにして北朝鮮当局は、他国が侵略・干渉してきた際、北朝鮮には自国を守るに十分な能力があり、単に圧力をかけるだけでは無意味であるという内容のシグナルを世界に向けて発している。しかしながら、このような政策をとるにあたっては、北朝鮮自身にも大きな危険性が及ぶとトロラヤ氏は指摘している。北朝鮮の核弾頭プログラムについて討議が行われたアメリカから帰国したばかりのトロラヤ氏に見解は次のようなものである。

「危険性とはつまり、北朝鮮がアメリカを実際に攻撃できる能力がない、見せかけ状態であるうちに、アメリカ人が現行の状況に甘んじることができず、北朝鮮の核施設に対して、先制攻撃を与えるかもしれないということだ。このことにおいて、私と会話した専門家たちの大部分の意見というのは一致している。しかし、日本の防衛大臣の言及からは、北朝鮮が選んだロケット核弾頭による「恐喝戦略」というのは、ある程度の効果があるということが見えてくる。問題はこういうことだ。アメリカ人というのは病的なまでに、世界の中の誰かがアメリカに攻撃を仕掛けて被害を及ぼすことを、技術的に可能にしてしまうのではないかと憂慮している。このことは深くアメリカ人の精神の中に植えつけられている。なぜならアメリカ人は未だかつて一度も、自分たちの領土で戦ったことがないし、自分たちのことを「守られた大洋」だと見なしてきたからだ。そして北朝鮮は今、この痛い所に明らかに圧力をかけている。アメリカに憂慮を呼び起こさせ、彼らに何らかの手段をとらせるためだ。この何らかの手段というのは、北朝鮮が思い描いているところでは、交渉し、妥協を見出すことだ。

ある程度、この理論は生きている。1月初旬から、アメリカは静かに北朝鮮と対話を始める道を探しているのだから。ここにおいては、以前のように、核を放棄することに関しての前提条件さえも設けられていない。これはアメリカの立場において、肯定的な変化、雪解けといえる。北朝鮮が核の盾を利用して行うことができただろう挑発について言えば、これはむしろ、政治家と一般の人々を驚かせるためのものだ。

ここ数年、北朝鮮はどのような扇動行為もしていない。そう、北朝鮮はプロパガンダ的な言動をしたり、プロパガンダ映像を流したりして、デモンストレーションとも言える練習射撃とテストをしているだけなのだ。まあしかしこれは、PR行動によって、広く注意を集めようとしているだけなのだ。実際には、世界や安全保障体制を脅かすような行動には出ていない。

しかし北朝鮮への様々な場所の攻撃を想定したアメリカと韓国の合同軍事演習はこれとは事情が違う。米韓合同部隊は、陸上部隊を北朝鮮に上陸させる想定演習をしているし、物理的に北朝鮮の上層部を排除するトレーニングもしている。」

朝鮮半島にアメリカ軍が最新軍備を配置していること、そして戦略的に爆撃機や航空母艦を配備していることは、北朝鮮のプロパガンダ風のおしゃべりに比べれば、朝鮮半島の安定化のためには全く容易ならぬ、重大なことだとトロラヤ氏は見なしている。

<http://bit.ly/1N7xKqV>

サウジアラビアとロシア 原油採掘凍結に関し合意達成

(スプートニク 2016年04月13日 06:06)

◎ AP Photo/ JOHN MOORE <http://bit.ly/lpsTdjN>

ロシアとサウジアラビアの代表者が伝えたところでは、両国は原油採掘レベル凍結問題に関し、

歩み寄り達成に成功した。12日、インターファクスが伝えた。サウジアラビアは初めて、イランの参加なしでの採掘量凍結に合意した。これまでサウジ当局は、採掘量凍結合意への自分達の参加決定を、イランの立場に結び付けてきた。なおイラン当局は、制裁前の水準まで採掘量が拡大しないうちは、凍結に踏み出す用意はないと主張していた。

<http://bit.ly/1VkZP0t>

Fitch サウジアラビアの格付けを下げる

(スポーツニク 2016年04月13日 08:04)

◦ Flickr/ Gideon Benari <http://bit.ly/1NMJopA>

12日、国際格付け機関 Fitch (フィッチ) は、サウジアラビアのランキングを一つ下げ、最高から四番目の“AA-”とした。Fitchの発表では「格下げは、今年と来年度の原油価格予想の見直しを反映したものだ」という。今後のランキング予想については「ネガティブ」のままとなった。先に Fitch は、2016年の平均原油価格予想を、1バレル=\$35 にまで下げ、2017年は1バレル=\$45 とした。

<http://bit.ly/1qPtHpz>

北朝鮮軍大佐 南へ脱走

(スポーツニク 2016年04月13日 09:28 タチヤナ・フロニ)

◦ AP Photo/ Jon Chol Jin <http://bit.ly/1Vl0bnV>

聯合ニュースは、北朝鮮の朝鮮人民軍偵察総局の大佐が昨年末に韓国へ亡命したと報じた。この人物は、韓国担当だったという。

聯合ニュースが消息筋の話として伝えたところによると、「偵察総局の大佐は朝鮮人民軍の一般部隊の中将に相当し、朝鮮人民軍出身の北朝鮮脱出住民(脱北者)の中では最も高い階級」だという。これを考慮した場合、大佐は、偵察総局の対韓国工作業務に精通しているはずであるため、韓国にとっては非常に価値がある。

韓国の国民大学の教授アンドレイ・ラニコフ氏は、北朝鮮の情報機関職員による脱北は今回が初めてではないと述べ、次のように語っている—

「北朝鮮情報機関の大物職員が韓国へ亡命した一番最近の出来事があったのは1970年代だった。その時は、ケソン国家安全保障局の責任者が韓国へ逃げてきた。その後は、より身分の低い職員たちが亡命した。韓国には、高い身分の脱北者たちがたくさんいると思われるが、彼ら

の保護についてはなにも伝えられていない。しかし、今回は伝えられることになった。現在この偵察総局の大佐は恐らく韓国で証人保護プログラムの下にあると思われる。身分の高い脱北者たちは、一般的に厳格なセキュリティの下、別の名前で暮らし、韓国の情報機関の分析センターで働いていることが多い。しかし脱北者の大多数は、はるかに悪い環境に置かれ、韓国の貧しい人々と同じレベルで暮らすことになる。なぜなら彼らはコンピューターを見たこともなければ、自動車を運転したこともないなど、通常、何の能力も持っていないからだ。

すなわち、主にこれらの人々は、専門的な技術や知識を持っていないのだ。金正恩氏が政権に就くまで、北朝鮮の報道機関は脱北した北朝鮮の裏切り者について全く報道していなかった。しかし今、北朝鮮のプロパガンダは、南へ逃亡するモチベーションを低くするために、このような裏切り者たちの悲しい運命について語っている。北朝鮮から逃げた裏切り者たちは、韓国の偽りのプロパガンダを信じた愚か者とされ、今は苦しんでいると表現されている。」

北朝鮮の大佐の亡命が報じられた少し前、約 10 人の北朝鮮人が韓国へ亡命した。しかし韓国のマスコミはなぜ今になってこの事を伝えたのだろうか？ ロシア科学アカデミー極東研究所のコンスタンチン・アスモロフ主任研究員は、韓国大統領選挙と関係があるとの見方を示している。複数の韓国人も、韓国のジャーナリストのインタビューで同じような意見を述べている。しかし、ラニコフ氏は別の見方を表し、次のように語っている—

「脱北者の数は、選挙とは関係ない。これは豆満江に張る氷の状態によってのみ決まる。豊富な情報を持つ複数の脱北者には、こっそりと分析センターで給料の高い仕事が与えられる。誰かが、プロパガンダ目的で関心をひきつけようとすることはあるが、しかし今は特にそれをする必要はない。今年、韓国の与党は選挙で得票率 70%以上を獲得して、同国の選挙史上前例のない勝利を勝ち取ろうとしている。これは、自分たちの判断で憲法を根本的に作り直すのを可能とする。そのため私は、選挙前にこのような脱北者に関する騒々しい情報キャンペーンをする必要があるとは特に思えない。とはいえ、過去には同じようなことが実際に行われたことがある。」

<http://bit.ly/1oVZ3ZJ>

ナイジェリアのイスラム原理主義者 以前の 10 倍の頻度で自爆テロに子供を使い出す

(スプートニク 2016 年 04 月 13 日 10:33)

◎ AP Photo/ Hatem Moussa <http://bit.ly/1MNDrs7>

ナイジェリアのイスラム原理主義組織「ボコハラム」の自爆テロリストとして利用される子供達の数が、以前の 10 倍以上に増えた。12 日、ユニセフ（国連児童基金）が伝えた。

ユニセフの報告書の中では、次のように述べられている—

「ナイジェリア、カメルーン、チャド、ニジェールで自爆テロ攻撃に引き込まれた子供達の数が、この一年間で急激に増えた。2014年は4件に過ぎなかったが、昨年2015年は44件にもなった。そして自爆テロをやらされた子供の75%以上が女の子だ。子供達は騙され、無理やり自爆攻撃をやらされている。これこそが、ナイジェリアとその近隣諸国における暴力行為の最も恐ろしい側面の一つである。」

「ボコハラム」は、ナイジェリアで活動する過激派イスラム組織で、2014年5月には、国連安保理事会により、世界が共同で戦うべきテロ組織のリストに含められた。

<http://bit.ly/25YKqqm>

米国 シリア政府軍の攻撃停止を呼びかける

(スプートニク 2016年04月13日 16:29)

© AP Photo/ John Minchillo <http://bit.ly/1Sbrld1>

米国のサマンサ・パワー国連大使は、ロシアに対し、シリア政府軍による同国アレッポでの攻撃をやめさせるために、シリアのアサド大統領に働きかけるよう求めた。

パワー国連大使は、米ニューヨークで開かれたシリアに関する国連安全保障理事会の会合の後、記者団に対し、次のように述べた—

「攻撃は、アレッポの住民だけでなく、互いに関係しあっている停戦や政治対話のようなプロセスにとっても破壊的なものとなる。」インターファクス通信が報じた。なおイズヴェスチヤ紙によると、ジュネーブで予定されているシリアに関する協議では、移行期の統制機関の創設や新憲法の制定、議会ならびに大統領選挙の実施メカニズムの調整に関する合意を見込む政治的移行プロセスの組織が主要テーマとなる。

<http://bit.ly/1VX41kP>

北朝鮮 米国に到達可能なミサイル発射の可能性

(スプートニク 2016年04月13日 16:54)

© REUTERS/ KCNA <http://bit.ly/1SbrMo4>

水曜日、菅官房長官は、記者会見で「日本政府は米国と共に、北朝鮮国内で、米本土に到達可能な新型移動式弾道ミサイル打上げに向け準備がなされている可能性がある事に関し、積極的な情報収集を行っている」と述べた。

先にCNNテレビは、消息筋の話として「北朝鮮は、西側で KN-08 あるいは KN-14 というコードネームを持つ2つの移動式弾道ミサイルのうち、一つを発射する可能性がある」と伝えた。この2つのミサイルは、これまで軍事パレードで披露された事はあるが、一度も打上げられたことはない。しかし専門家らは「これらのミサイルは、潜在的に米国の太平洋沿岸北部を攻撃する能力と持つ」と見ている。

先に北朝鮮は、弾道ミサイル用小型核弾頭の開発を成功裏に完了し、そのエンジンの地上テストを実施したと発表している。

<http://bit.ly/1oZkYzb>

中国の原油輸入量 記録的に増加

2016年04月13日 18:28)

© Fotolia/ James Thew <http://bit.ly/1NcFTDg>

今年2016年第一4半期、中国の原油輸入量は、昨年と同じ時期に比べ6%増加、一日の輸入量は734万バレルとなった。ブルームバーグ通信の指摘によれば、これは「この時期としては記録的な数字だ」。

今年1月から3月までの期間全体で、中国は約9,110万トンを入力した。これは、原油価格が変化しないうちに価格下落から最大限の利益を引き出したいとする独立系石油加工企業の活動が活発化し、原油需要が伸びた事によるものだ。

さきに Standard Chartered Bank は、次のような見方を示している—

「昨年2015年、中国における石油製品の需要は6.2%増えた。今後も中国は、自国の戦略的ストックを補うために、国外での原油買付けの拡大を続けるだろう。その結果、2018年末から2019年初めまでに、中国の原油輸入量は、一昼夜1千万バレルを越え、その事は、中国を押しも押されもしない世界最大の原油輸入国にするに違いない。」

<http://bit.ly/1N9xF62>

ロシア 首都をモスクワからセヴァストーポリへ移す可能性について検討

(スプートニク 2016年04月13日 19:15)

写真 1/3 <http://bit.ly/1qT8FGJ>

ロシア司法省は、政治的インフラストラクチャー分析センターのエヴゲーニー・トゥニク理事長

が提案した、首都をモスクワからクリミア半島のセヴァストープリへ移す問題について、可能性のあるリスクについて詳細に分析しなければならないと発表した。リア-ノーヴォスチ通信が伝えた。

先にトゥニク理事長は、メドヴェージェフ首相に、首都をモスクワからセヴァストープリへ移すよう提案する書簡を送った。

トゥニク理事長によると、首都をセヴァストープリへ移すことは、クリミア半島の発展に役立つという。

<http://bit.ly/1YuyR4t>

モスクワ証券取引所の株価指数 2008 年以來最高に

(スプートニク 2016 年 04 月 13 日 19:35)

© Sputnik/ Alexey Kudenko <http://bit.ly/1pJaq8a>

モスクワの主な株価指数の一つ、「ルブリョヴィイMMVB」で、2008 年 6 月以來最高値が記録された。指数は 1924.34 ポイントになり、昨日の取引終了時のレベルから 1.32%上がった。水曜日、ドルを基本に算出された RTS 株価指数は、およそ 1.5%上昇、925 ポイントに達し、2015 年 7 月 3 日以來の最高となった。13 日の取引で株価を主に押し上げたのは、VTB 銀行、「ノヴォテク」「TMK」「バシネフチ (バシコルトスタン石油)」だった。分析専門家らは、投資家の動きが活発化したのは、中国経済活性化についてのデータが出たことに関係しているとしている。今年 3 月全体で、中国のドル建て輸出は、前年同期比プラス 11.5%、一方輸入は 7.6%の減少となった。これらの数字は、専門家の期待を上回るものだった。また原油価格が 1 バレル=44 ドルに上がった事も、好感を持たれた。

<http://bit.ly/1Yuz2gm>

小さな集落をオスプレイが取り囲む恐怖…ヘリパッド建設問題、沖縄の決断は？

(スプートニク 2016 年 04 月 13 日 20:10 徳山・あすか)

© Flickr/ Peter Gronemann <http://bit.ly/1qT9WgX>

沖縄本島北部の国頭村 (くにがみそん) ・東村 (ひがしそん) にまたがって位置している米軍の北部訓練場をめぐり、政府・沖縄県・地域住民の思惑が交錯している。北部訓練場は総面積が 7,800 ヘクタールにもものぼり、ジャングル戦闘訓練センターとも呼ばれている。この一帯は「やんばるの森」として有名な森林地帯となっており、国の天然記念物、ヤンバルクイナやノグチゲラなどの希少種が生息している。

北部訓練場は、ベトナム戦争時には米軍にとってゲリラ戦のための格好の訓練場となった。当時、訓練のため猛毒・ダイオキシンを含む枯れ葉剤が沖縄に持ち込まれ、そのために健康被害を受けたと複数の米兵が証言している。ジャパン・タイムズ紙が米退役軍人省から入手した資料によれば、96年から2010年にかけて健康被害を訴えた米兵の数は132人にものぼるとのことだ。しかし米政府は、枯れ葉剤を沖縄に持ち込み、訓練に使用したことは否定している。日本政府も、この問題を突き詰めて調査することはなく、現在まで曖昧になったままだ。

この北部訓練場は、1996年のSACO合意に基づき、過半（約3987ヘクタール）を返還することになっている。しかしその交換条件として、ヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）を返還されない区域に6カ所建設しなければならない。6カ所中、2カ所は既に建設済みだ。北部訓練場の部分返還は当初2002年度末を目処としていたが、ヘリパッド建設問題が解決されないため、延びに延びている。しかし国はこの問題に決着をつけるべく、年内の部分返還を目指すとした。

沖縄県は難しい立場に置かれている。新しいヘリパッドが完成すれば、新型輸送機オスプレイが配備されるだろうことは明らかだ。このためオスプレイの配備撤回を掲げる県は、ヘリパッド建設に反対する住民たちの運動を直接排除することはしていない。しかし沖縄における米軍専用施設の面積を減らしたいという点では、皆の思いは一致している。翁長知事は今のところ、返還計画の賛否に関して「交通整理が必要」とし、態度を明らかにしていない。

ヘリパッドが全て完成すると、東村の高江の集落（人口約150人）は、ヘリパッドに囲まれるような形になってしまう。高谷の集落の住民としては、当然建設に反対だ。反対運動関係者は「東村としてはヘリパッド建設を認めています。基地を提供すれば交付金が出て、村の財政になりますから。沖縄本島最北部の国頭村の方は返還される部分が多いですが、東村はほとんど返還されずに訓練場が残ってしまいます。国頭村と東村の足並みが揃っておらず、そこに国がつけこんでいるのです」と話す。

工事現場周辺では、「ヘリパッドいらない住民の会」と、「高江ヘリパッド建設反対現地行動連絡会」のメンバーが座り込みで反対運動を行っている。メンバーの一人は、「政府としては我々の反対運動のために工事ができなくなっているのだから、これを排除することを沖縄県に依頼しています。この行政指導の求めに対し県がどのように対応するかが、目下の我々の問題です。」と話している。

<http://bit.ly/1T5hPIX>

ギリシャと債権者との交渉 今月中に終了の可能性

（スプートニク 2016年04月13日 20:29）

© Fotolia/djama <http://bit.ly/1qITdwl>

「ギリシャと国際債権者との交渉は、今月中に終わる可能性がある」—新聞「The Wall Street Journal.」のインタビューに応じた欧州安定メカニズム（ESM）のクラウス・レグリング総裁は、こ

のように述べた。

報道によれば、ギリシャは、総額 860 億ユーロ (979 億 4 千万ドル) の融資プログラムと引き換えに、緊縮財政政策をとり、国際債権団と打ち合わせをしながら、経済領域でのあらゆる行動をとる義務を負う。

先に伝えられたところでは、ギリシャには、920 億ユーロの財政援助が必要不可欠だ。この額は、承認された国際融資よりも 60 億ユーロ多い。

<http://bit.ly/1N9z7VY>

マスコミ：デンマークで大勢の難民がキリスト教へ改宗

(スプートニク 2016 年 04 月 13 日 20:58)

© AP Photo/ Axel Heimken <http://bit.ly/23wiPOE>

デンマークへの亡命を希望する難民たちは、イスラム教からキリスト教へ改宗することが多くなっている。La Tribune de Genève 紙が報じた。

キリスト教徒の難民を支援する団体 Folkekirkens Asylsamarbejde によると、昨年末から少なくとも 100 人のイラン人が洗礼を受け、さらに 250 人から 300 人の難民が洗礼にむけた準備コースに通っており、その大部分がイラン人とアフガニスタン人だという。

なお新たに改宗した難民たちは、調査担当者たちから疑いを持たれているほか、コペンハーゲンの教会の司祭が La Tribune de Genève 紙に語ったところによると、キリスト教に改宗した難民の中には、難民受け入れ施設でイスラム教徒たちから迫害や精神的および肉体的暴力を受けている人々もいるという。

<http://bit.ly/1MvcjQA>

「ダーイシュ (IS)」戦闘員 「神の門」を破壊

(スプートニク 2016 年 04 月 13 日 21:09)

© AFP 2016/ Stringer <http://bit.ly/1PjTn6w>

テロ組織「ダーイシュ (IS、イスラム国)」の戦闘員らは、イラク北部の都市モスル近郊にある「神の門」を破壊した。これは、2000 年前に作られたもので人類文化(メソポタミア文明)の貴重な遺産だ。新聞「The Independent」が伝えた。

この門は、かつて世界最大の都市であった古代アッシリアの都市ニネヴェへの入り口だった。「ダーイシュ」戦闘員らの蛮行を目撃したモスルの人々は「彼らは、門を破壊するために武器を使用した」と伝えた。彼らが、占領地にある歴史的記念物を破壊したのは、なにも今回が初めてではない。イラク国外、隣のシリアでは、数ヶ月間占領したパルミラ遺跡に深刻なダメージを与えている。

Isis has destroyed another historical site in Iraq

<https://t.co/WIWnwrJBsn>

The Independent (@Independent) 12 а п р е л я 2016 г

<http://bit.ly/1Mvzvzg>

<http://bit.ly/1RV48xb>

C I Aは和平協議が決裂すればシリアの反政府勢力への支援を強化する

(スプートニク 2016年04月13日 22:11)

© AFP 2016/ Amer Almohibany <http://bit.ly/1SNme0y>

C I A（米中央情報局）は近東地域におけるパートナー国の情報機関と共に、シリア和平協議が決裂した際には反アサド勢力への支援を強化する。ウォールストリート・ジャーナルが情報筋の話を伝えた。

プランBと呼ばれる作戦の1つとして、反政府穏健派にアサド政府の砲兵隊や航空隊への攻撃を可能にする兵器の提供が検討されている。具体的な兵器の種類については定かではない。

C I Aの情報によると、反政府勢力は違法に入手した携帯式防空ミサイルシステムを数基所持している。これに関して、米政府職員はこうした兵器がテロリストの手に渡るのではと危惧しており、供給兵器に対して地上センサーやその他の制限装置をつけることが検討されている。

<http://bit.ly/1RV5tUA>

トルコのエルドアン大統領、サウジアラビアの国王とロシアの軍隊行進曲をバックに面会

(スプートニク 2016年04月13日 23:27)

写真 <http://bit.ly/1T5kW3u>

トルコのエルドアン大統領と、昨日アンカラに到着したサウジアラビアのサルマン・ビン・アブドゥルアズィーズ国王の面会は、予想外の出来事なし、というわけにはいかなかった。

facebook.com/ <http://bit.ly/1SbwrWX>

エルドアン大統領がサウジアラビア国王の到着を待って整列していた儀仗兵らに挨拶したとき、ロシアの革命前の軍隊行進曲「故郷を想う」が流れた。この行進曲「故郷を想う」は、1905年サンクトペテルブルグにて、クロップによって初めて録音された。

<http://bit.ly/1T5kKRV>

米ワシントンポスト：ダーイシュはアラブの若者の支持を失いつつある

(スプートニク 2016年04月13日 23:29)

© Sputnik/ Ramil Sitdikov <http://bit.ly/20Dg74C>

世論調査によって、テロリスト集団ダーイシュ（IS、イスラム国）の支持がアラブの若者の間で急速に失われていることが明らかとなった。米紙ワシントンポストが報じた。

この調査は米国のPR会社バーソン・マーステラの中東支社によってアラブ16カ国の18歳から24歳の若者を対象に行われた。調査の結果、回答者の80%がダーイシュを支持しておらず、また参加を希望しないことが明らかとなった。これに関して、1年前の調査でこの立場をとったアラブの若者はわずか60%であった。

加えて、回答者の半数以上がダーイシュを近東における主要な問題だと考え、4分の3がイラクとシリアにおけるイスラム帝国の建国は失敗すると考えていることがわかった。また、この調査によって信仰心に促された結果としてダーイシュに参加するわけではないことも判明。それよりも失業と経済的見通しの困難がはるかに関係しているということだ。

<http://bit.ly/20Dg8pa>

米国、フィリピンに軍事基地を配置

(スプートニク 2016年04月14日 06:24)

© AP Photo/ Bullit Marquez <http://bit.ly/1VXcHZI>

米国がフィリピンに軍事基地として5つの拠点を配置する。米ニューヨーク・タイムズ紙が伝えた。今週中にも相互協定に調印される見通しだ。協定の有効期限は10年とされており、この間米国はフィリピンの陸軍基地1カ所と空軍基地4カ所の都合5つの軍事基地で施設を新たに建設したり、すでに存在する施設を利用することができる。

米国側はフィリピンに4,000万ドルを支払うことに合意している。アナリストが指摘するように、

米国が特に関心を寄せているのはパラワン島のアントニオ・バウティスタ空軍基地だ。この基地は南シナ海の紛争海域のすぐ近くに位置している。

ニューヨーク・タイムズは、中国がすでにこの協定に対して南シナ海の状況を「軍事化」するものだと否定的な見解を表明していると伝えた。

<http://bit.ly/1VmQh4V>

「中古の英国首相売りに出します！」との書き込み eBay に出現

(スプートニク 2016年04月14日 07:05)

© AFP 2016/ NIKLAS HALLE'N <http://bit.ly/1TSzoyd>

インターネットオークションでは世界最多の利用者を持つ米国のイーベイ (eBay) で、英国のキャメロン首相を「売りに出す」試みがあった。現在、メッセージは既に削除されたが、オンライン画像共有と画像管理サービス Imgur にスクリーンショットが保存されている。

ロットの説明によれば、「もはや必要のない使用済み英国首相。『商品』に箱及び取扱説明書はついていない」との事だった。さらにメッセージには「購入者は自身で取りに来ること。当方『商品』に手をつける用意なし」と付け加えられていた。スクリーンショットが作られた時、キャメロン首相には、65,900 ポンドの値がついた。当時、取引終了まで5日が残されていた。

twitter.com/ <http://bit.ly/1qqvKPX>

<http://bit.ly/1Q8sDkK>

ウクライナ首相 300万ドルの賄賂受け取り疑惑

(スプートニク 2016年04月14日 08:03)

© Sputnik/ Aleksandr Maksimenko <http://bit.ly/1Np87MU>

ウクライナ検察当局は、ヤツェニューク首相の問題を刑事事件として捜査を始めた。社会運動体「国民コントロール」によれば、ヤツェニューク氏は、300万ドルの賄賂事件に関与している。「国民コントロール」の代表は、ウクライナ検察当局の声明を引用し、次のように伝えた—

「この件は、ウクライナTVラジオの指導者としてイシチュク V. O. を任命する見返りとしてヤツェニューク首相が 300 万米ドルの賄賂を受けた事実をめぐり、公判前の調査の登録簿に記入された。」

この刑事事件は、すでに3月15日に提起され、誰に対しても訴えは起こされなかったが、捜査は続けられている。

<http://bit.ly/1SB1F9I>

ロシアと日本：物思いとためらいを呼び起こす「中立」

(スプートニク 2016年04月14日 09:25 アンドレイ・イワノフ)

© Sputnik/ <http://bit.ly/20JqzsB>

75年前の今日、1941年4月13日に締結された日ソ中立条約は、露日関係に横たわっている解決困難な問題について考える上でのきっかけを与えている。以下、モスクワ国際関係大学上級研究員、アンドレイ・イワノフ氏の見解を紹介する。

ロシア人は、日本が「ロシアは狡猾にも日ソ中立条約を一方向的に破棄した」としてロシアを非難することが気に入らない。ロシア人は、もちろん、ロシアがいつどんな時・どんな場合においても、隣国との関係において正しかったとは思っていない。しかし、1945年の8月9日に日本に宣戦布告することで、ロシアは、つまりソ連は、連合国への借りをアメリカとイギリスに返したのだ。その借りとは、アメリカ・イギリスが1944年に反ナチスドイツの第二の前線を開放し、そのことが第二次世界大戦の終結を早めたということだ。スターリンは、日本を一刻も早く破壊するために、ソビエトの助けを必要としている連合国を裏切ることができただろうか？いや、彼は、そんなことはできなかった。

そしてスターリンは、日本を騙し、裏切ったわけではない。なぜならば日ソ中立条約の効力が切れる一週間前に条約の廃棄を通告していたし、実際に参戦したのはそれから4ヶ月も経ってからなのだから。

ある意味では、1945年のソ連は日本との関係において、日本がロシアの領土拡張に恐れを抱いてロシア帝国と戦争を始めたときの日本のロシアに対する関係よりも、正直・実直にふるまったといえる。そう、ニコライ二世の周りには数人の山師がいて、日本人を満州や朝鮮半島から排除し、ロシア帝国の力を満州・朝鮮半島まで拡大するという計画を立て、皇帝の気を引いた。

しかしロシアの外交部や将官団は、日本と戦争するなどという計画を支持しなかったし、戦争に向けて準備もしなかった。このことはロシアの戦争における敗北が証明している。この戦争はまさに、日本が始めたものだ。日本の勝利は、付け加えて言うなら、日本にとって代償が高くついただけで、利益にはならなかった。

ロシアからサハリンの南半分を譲り受け、そして韓国を併合したことは、日本人に自分たちが優越しているという感覚を呼び起こさせた。そして少し後に、日本が中国や太平洋で戦争を繰り広げる引き金になったのだ。しかしその戦争は結局のところ負け戦に終わった。この日本の敗北

は、繰り返して言えば、ソ連が対日本参戦をしたために早まったものだ。

このときから日本はロシアに対して憎しみを抱いている。そして両国はその時から今日まで平和条約の締結に至っていない。これにおいて両者とも、平和条約がない現在の状況は異常であると考えているし、問題を解決する道を話し合う用意ができています。まさに、このような狙いがあるために、安倍晋三首相は、少しでも早くプーチン大統領に会おうとしているのだ。

ロシアと日本は、相互協力を発展させなければいけないのだが、しかしながら露日のリーダーの対話は、とどのつまり、単純なものにはならないだろう。それは 20 世紀に二国の中で起きた 2 回の戦争の記憶のせいでもある。

さて、ロシアとドイツの間には、やはり前世紀の間に 2 回の戦争があった。それも、露日の戦争に比べて、露独間の戦争ではずっと多くの血が流れた。それにもかかわらずロシアとドイツは、お互いがかつて感じていた憎しみを過去のものとする事ができた。ロシアと日本も、そろそろそれと同じことをする時期に来ているのではないだろうか？

<http://bit.ly/26lLxWe>

中立条約は日本の狡猾さの証拠

(スプートニク 2016 年 04 月 14 日 10:24 アンドレイ・イワノフ)

写真 <http://bit.ly/1SBmrU5>

今から 75 年前、ソ連と日本は中立条約を締結した。ソ連は条約の期限が切れる 1 週間前に日本に廃棄通告し、8 月 8 日に 8 月 9 日から日本との戦争状態に入ると考えていることを正式に発表した。この事実は長年にわたって日本の歴史家や政治家たちが、狡猾さや不誠実さ、日本への予期せぬ攻撃、そしてその結果の南クリル諸島のいわゆる「不法占拠」でソ連を非難するために利用されてきた。しかしロシアの著名な歴史家で東洋大学教授のアナトーリー・コシキン氏は、事実は日本の行動が狡猾だったことを物語っていると述べ、次のように語っている—

「1946 年 5 月から 1948 年 11 月まで行われた東京裁判は、ドイツとソ連の戦争における日本の『中立』が、実際にはソ連が日本に攻撃するまでドイツを支援するための衝立となっていたことを認めた。日本では 1960 年代に、東京裁判のこれらの結論の正当性を確認する文書が公表された。目撃者の証言によると、中立条約署名の際にクレムリンで開かれたバンケットの最中に、ソ連の指導者スターリンが、日本代表団に対する乾杯を提案し、特に日本代表団の軍人たちの条約締結への貢献を指摘した。これに対して日本の松岡外相は率直に、これらの軍や艦隊を代表する人々は中立条約を締結したものの、実際には常にどうやってソ連を打ちのめすか考えていると述べた。スターリンは日本の軍人たちに、『ソビエトロシアは、皆さんが一度勝利した腐りきった帝政のロシア帝国ではない』と言及せざるを得なかった。」

コシキン氏によると、このスターリンの警告を日本は無視し、ソ連との戦争に向けて準備を続けた。1941年4月、当時陸軍大臣だった東条英機が「条約を無視して、我々はソ連に対する軍事的準備を積極的に行う」と述べた。その少し後には、ソ連との国境付近に配置された関東軍司令部のキムラ司令官が、関東軍統合司令官会議で、対ソ作戦を準備する必要性について発表した。

1941年6月22日にドイツがソ連を攻撃した時、日本の松岡外相は、急いで昭和天皇のもとを訪れ、ソ連を即刻攻撃するよう執拗に提案した。2週間以内に開かれた秘密会議で、枢密院の原嘉道議長が天皇同席のもと、「中国の事件」で日本が忙しいことを認めながらも、最初のチャンスが訪れた時にソ連を攻撃することを提案した。原議長は、「誰かが中立条約に関連して、日本がソ連を攻撃するのは非道徳的だと言うかもしれない…だがもし我々がソ連を攻撃したならば、誰もそれを裏切り行為だとはみなさないだろう。私はソ連を攻撃する機会を待ちわびている。ソ連は破壊されなければならない」と述べた。

コシキン氏は、それから間もなくして日本の参謀本部は1941年8月29日にソ連を攻撃すると決めたと述べ、次のように続けている—

「しかしソ連への攻撃は行われなかった。だがそれは日本の宣伝家たちが主張しているような、日本が中立条約の条件を誠実に遂行したからではなく、ドイツの『電撃戦』が失敗し、ソ連の防衛力が同国の東部で維持されたからだ。いつ始まるかわからない日本の攻撃を撃退するための準備として、ソ連軍全体の28%超に相当する549万3,000人の中から156万8,000人と数千台の戦車や航空機が極東と南の国境近くに配置された。この戦力は、ソ連とドイツの前線で効果的に使えたはずだ。そのため、軍国主義日本の政策が、戦時中に中立条約の規定に違反し、全体として大祖国戦争と第二次世界大戦を長引かせ、ソ連や他の国民の犠牲者を増やしたと考える十分な根拠がある。」

<http://bit.ly/1qqwKn1>